

目次

高崎経済大学地域科学研究所 ニュースレター No.11

2018年度の終わりに	(1)
第1回あすなろ市民ゼミ報告	(2)
2018年度地域科学研究所事業報告	(6)
研究プロジェクト新刊案内	(49)
地域科学研究所動静	(50)
編集後記	(50)

2018年度の終わりに

地域科学研究所長 西野 寿章

2018年度の終わりにあたり一言ごあいさつ申し上げます。2018年度は、地域科学研究所が発足して4年度目にあたりました。地域科学研究所の研究の中心は、高崎市、群馬県に関わる諸問題を研究する研究プロジェクトです。今年度で終了する空き家研究プロジェクト(研究代表者・岩崎 忠所員)の研究成果は『空き家問題の背景と対策 未利用不動産の有効活用』としてまとめ、3月末に日本経済評論社から刊行されます(別項参照)。一方、水に乏しかった高崎台地を潤してきた長野堰の研究は、高崎台地の地質研究によって、長野堰が開削された背景が解明され、90年代の測量技法の研究も進められました。来年度には、多くの高崎市民が忘れかけていた長野堰の歴史的役割をまとめます。そして、高崎市製造業研究プロジェクトでは、高崎市製造業の海外展開を研究するため、高崎商工会議所、企業の協力を得て、中国の現地法人を訪問しました。来年度は、タイとベトナムに進出した企業の海外事業所を訪問して、高崎市製造業の躍動を研究します。

2016年度からは、市民の生涯学習に寄与する地域科学研究所のオリジナル事業が開始され、今年度において、ほぼラインナップが出揃

いました。これまでの秋季の公開講座に加え、2016年度から高崎市中央公民館を会場とし、高崎市の生涯学習と連携した高崎経済大学連携講座を春季に開設しました。また、地域の歴史や文化を学ぶ地元学講座、地域の諸相を歩いて学ぶ地域めぐりを新設してまいりました。そして、今年度から、中心市街地の鞆モールで本学学生が運営しているカフェあすなろを会場として、本学教員と少人数の参加者が様々な社会経済問題をテーマに討論を行う市民ゼミナールを開設しました。いずれの事業共、参加者からは好評をいただきました。

一方、地域科学研究所の刊行物は、毎年刊行される研究プロジェクト本、研究所紀要「産業研究」の2種類でしたが、今年度から高崎市の歴史や現代的課題を解説する高崎経済大学ブックレットを年に2冊刊行することにいたしました。なお、ブックレットは、大学(図書館1階・研究支援チーム)と高崎市役所(1階・市民情報センター)において無料配布いたします。詳しくは、高崎経済大学のホームページでお知らせいたします。

地域科学研究所では、基礎研究と高崎市民、群馬県民の生涯学習に寄与するために多様な事業を展開しております。2019年度も、引き続き地道に基礎研究を続ける一方、高崎市民、群馬県民の生涯学習に寄与できるよう進めてまい

ります。地域科学研究所の諸事業への積極的な参加と忌憚のないご意見をお待ちしております。

第1回あすなろ市民ゼミ報告

①8/30『人口変動とマクロ経済を考える』

1) はじめに

「あすなろ市民ゼミ」は、西野寿章地域科学研究所長を発案者として今年度から導入された新しい事業です。これまで、本学は同研究所ならびにその前身である産業研究所、地域研究所や学内研究組織（経済学会、地域政策学会）の主催による市民開放講座や講演会等を実施してきました。本事業はこれらに加えて、大学で学生が受講するゼミナール（ゼミ・演習）の少人数学習や限定されたテーマに関する双方向的で密度の高い討議といった利点を活かして、受講いただいた市民の皆さんと新たな「学びの機会」を共有したいというアイデアで企画されました。以下では、「市民ゼミ」の特徴を、今回の実施内容に関する報告を通じて紹介させていただきます。

2) 課題図書の設定と事前課題の設定

第1の特徴は、事前に受講登録をしていただく市民の方々に指定図書と事前課題が設定されていることです。今回の市民ゼミは試験的な実施という側面もあり、受講者に対して1つのゼミを1回のみ行うこととなりました。しかし大学の実施する演習は1年30週を基本単位とし、2～3年の長期にわたり学生に研究指導を行うことが通常であり、1回だけの実施では学習効果があまり期待できませんし、従来から実施されてきた市民講座との違いも曖昧となります。これについて、議論したいテーマに関する共通理解や論点整理を事前に促すために、受講者の皆さんに新書またはそれに準じた課題図書と、関連するいくつかの事前課題を設定することが企画に盛り込まれました。

担当教員である私の専門分野はマクロ経済学ですが、地域の課題を含めて議論しやすい社会的な課題として人口減少問題を取り上げ、比較的平易で事前の論点整理を行うのに適した書物として、吉川洋（2016）『人口と日本経済』中公新書（ISBN978-4-12-102388-9）を選定しました。また事前課題として、①人口減少が経済成長に負の影響を及ぼすとされるのはなぜか、②現代でも経済成長は必要なのだろうか、③人口減少は地域社会の姿をどのように変えていくだろうか、また課題解決に向けてどのような提言が可能だろうかという3点について議論の準備をしていただくようにしました。事前課題は当日の議論や事後課題の内容を過度に誘導することを避け、あまり具体的になりすぎないように配慮しました。

3) ゼミの開催

第2の特徴は、市民ゼミが高崎市鞆町にある喫茶‘cafe あすなろ’の2階で実施されたことです。従来のような学内の施設ではなく、高崎市中心市街地のカフェで受講者の皆さんと珈琲やお菓子を戴きながら、終始リラックスした雰囲気の中で発表や意見交換を行うという新しい学びの場を体験しました。

実施にあたり、まず受講者のかたがたに簡単な自己紹介をしていただきました。次に、担当教員が課題図書の概略を解説し、人口減少が社会の一人当たり所得を長期的に低下させていく可能性について論点を整理し、統計データと経済理論を用いて補足的な説明を加えました。また、関連して群馬県の各市町村の人口と高齢化率に関する公的統計をもとに地域の人口動態について情報共有を行いました。その後、受講者の皆さんに事前課題について発表していただき、意見交換を行いました。受講者層は40歳代～80歳代と幅広く、それぞれ地域や市民社会の課題について財政、教育、人工知能（AI）、地方産業における生産性向上など、多様な問題

意識に基づく発表と意見交換が行われました。

1回2時間という限られた時間内でしたが、各人の発表に対して熱心に発言される方が多く、予想以上に充実したゼミとなりました。

4) 事後課題の提出

第3の特徴は、事前課題についてゼミ当日に発表いただいた内容と討議を踏まえて、受講者に後日レポートを提出していただいたことです。従来の市民講座のように参加して終わりではなく、レポートの作成作業を通じて受講者はゼミで学んだことや自身の意見を論理的に表明しなくてはなりません。提出いただいたレポートには担当教員がコメントを付けて、論じていただいた内容やトピックに関するアカデミックな話題や文献資料等を紹介し、さらに学びを深めていただく際のささやかな助言とさせていただきます。参加者の皆さんにとって限られた期間で指定図書を読み、ゼミで発表し、事後レポートを作成いただくのは骨の折れる作業だったと思いますが、みな熱心に対応下さり、実り多い学びの場となったことを実感しています。

5) おわりに

今年度、あすなろゼミは私の担当回を含めて4回実施され、受講者の方々にも新しい学びの機会として良い評価を戴き、成功裡に終わったと伺っております。初回の担当を無事終えることができ安堵するとともに、市民ゼミの企画と運営に関わった西野所長、研究支援チームの赤石宣広氏、カフェあすなろで働く本学の学生の皆さん、そして貴重な時間を割いてあすなろゼミに参加して活発に意見を述べ、発表準備やレポート作成に熱心に取り組んで下さった受講者の皆さんにこの場を借りて御礼申し上げます。

中野 正裕 (経済学部准教授)



<8/30 あすなろ市民ゼミの様子>

② 9/12 『社会正義とはなにか』

2018年9月12日にcafe あすなろの二階ホールにおいて「社会正義とはなにか」というテーマにおいて市民ゼミを開催した。テキストは、斉藤純一『不平等を考える：政治理論入門』（ちくま新書 2017）を使用した。

格差社会ということばが人口に膾炙して久しいが、格差の是正に向けて現在の政治哲学者たちがいかなる考察を行っているのかを、テキストを通じて参加者の間で論じ合うことを今回のゼミの目的とした。そのため、テキストを通読した上で、疑問に思った、あるいは参加者とともに議論したい点を3点にまとめてくることを事前課題として課した。

当日は6名の参加者があった。はじめに講師の私がテキストの概要を説明した上で、参加者たちが提起した疑問点について討論が行われた。この討論の中で印象に残ったのは、「不平等の是正」を本気で考察している哲学者が存在しているということ、参加者の一人が驚きをもって受け止めていた点である。資本主義市場の肯定と自己責任が喧伝されている現状において、社会・経済的不平等がもたらす諸問題を改善するにはどうすべきであるのかについて真剣に思索している研究者がこの世界に（複数）いることに対して、ある種の安堵と政治哲学という学問に対する驚歎を抱いたようであった。また「熟議」は政府というマクロな領域において

のみならず、町内会というミクロな自治の場においてこそ必要ではないのかという提案が参加者から示された。自治会長を務めているが、自治会とは名ばかりで先例主義に囚われ硬直化した組織になっていることをその参加者は憂っていた。このテキストを読み、自治会を民主化するためには会合の場であえて声を上げ、話し合いを喚起することの必要性を感じたとその人は論じてくれた。受講後は参加者から受講レポートが提出されたが、その中に使用テキストとではあまり支持されていなかったが、ゼミにおいて私が擁護した「ベーシックインカム」について、好意的な評価を示していたレポートもあった。

今回の市民ゼミは、日頃学生や研究者としか付き合いのない私にとって、格差や不平等、機会の平等や運、ブラック企業や労働の意味について一般の人々が抱いている考えを知るよい場となった。こうした取り組みは市民に取ってのみならず、自らの研究を社会に還元し、社会をより善くしていくことを企図している我々にとって大変有意義なものであると思われる。この市民ゼミがこれからも継続していくことに対して、微力ながら今後も貢献してゆきたいと考えている。

福岡 聡 (地域政策学部准教授)



<9/12 あすなる市民ゼミの様子>

③ 9/28 『ケインズを学ぶ』

2018年9月28日のあすなる市民ゼミは、「ケインズを学ぶ」というテーマで実施しました。最初に私の方から簡単な解説と問題提起をし、事前課題として考えてきてもらったテーマについて、自由に討論するという形をとりました。

「ケインズを学ぶ」といっても、難しい理論の話をするのではなく、投機の問題に焦点を当てて議論しました。一般にはケインズというと、「赤字財政」や「大きな政府」を提唱した人、というイメージをもっている人も多いと思います。しかしそれは少々偏った一面的な見方です。

(なぜそういう理解が生まれたかについては理由があるのですが、ここでは割愛します)。実はケインズは貨幣・金融の専門家で、ケインズがその生涯を通じて経済学の研究に費やした時間の大半は、貨幣・金融に関連するものであったといっても過言ではありません。そしてケインズの主著『一般理論』の議論を丁寧に追うと、不況や失業の原因は、労働市場ではなく、金融市場に問題があるという結論が得られます。ひいては投機の問題に行き着くわけです。

今回の市民ゼミでは理論的な内容には立ち入りませんが、投機という問題について、共に考えました。

そもそも投機というのは悪いことでしょうか。確かに、投機という行為は、古今東西を問わず、悪感情をもたれてきました。しかし、ではそれは何故か、と問われると、筋道を立てて答えられる人は意外に少ないのではないのでしょうか。例えば、どこかで誰かが投機をしていると、それは私たちの暮らしに何か影響するのでしょうか。あるいは、もし仮に世の中から一切の投機がなくなったとしたら、どのようなことになるのでしょうか。また、投機を規制する必要があるとすれば、有効な策はあるのでしょうか。経済学者の中には、投機を肯定的にみる人も否

定的にみる人も両方います。今回の市民ゼミでは、投機をめぐるこのような問題について、有意義な議論ができたと思います。

経済学は、社会科学です。人間の生きる社会を分析対象とします。難しい数式のでてくる高度に専門的な学問分野であると同時に、身近な日々の暮らしとも密接に関わる問題を扱います。それだけに、研究者は、偏った考え方に陥らないよう、同業者同士だけの議論に終始するのではなく、ときに様々な考えをもった市民の方々の声に耳を傾ける必要があるとも感じています。

あすなろでおいしいコーヒーとケーキをいただきながら、和やかな雰囲気で行いました。大学時代に経済学を学んだという方から、初めてという方まで、参加者の背景は様々でしたが、皆さん、真剣に考え、自分の意見を伝えてくれました。

一夜限りのゼミということで、時間が限られており、もう少しやりたかったな、という部分もありましたが、後日、課題レポートで感想を書いていただいたり、個別の質問に回答したりと、ある程度のフォローはできたのではないかと思います。

この講座を通じて、何かしら考えるきっかけを提供できたとしたら、嬉しいことです。

伊藤 宣広 (経済学部教授)



<9/28 あすなろ市民ゼミの様子>

④ 12/18 『ソーシャルビジネスを考える』

2018年12月18日(火)に今年度4回目の「あすなろ市民ゼミ」を担当しました。テーマは「ソーシャルビジネスを考える」でした。

ソーシャルビジネスとは、社会貢献と事業性を両立させる事業を指します。従来からのNPO(非営利組織)とどこが違うのか、その限界などを参加者の方と議論することを狙いました。テキストは、著名なソーシャルビジネス経営者である駒崎弘樹氏の『社会を変えたい人のためのソーシャルビジネス入門』(PHP新書)を指定しました。

当日は4名の方が参加されました。その中には、すでにNPO法人を設立して経営に取り組まれている方、NPO法人を将来立ち上げたい方など、今回のテーマに日ごろから関心をお持ちの方ばかりでした。そのため、テキストの内容だけを議論するよりも、NPO法人が収益性を高めてソーシャルビジネス事業者として自立できるかどうか、失敗しないためにどのような事業戦略を描くべきか、といった実践的な話で大いに盛り上がりました。普段は資料を読んだり、調査に行ったりしている担当者にとって、実務を知る方々と机を囲んで語り合ったことは、大いに刺激となりました。受講生と講師がお互いを尊重して議論することで、より議論を深めることができる場がゼミなのだ改めて実感できました。

八木橋 慶一 (地域政策学部准教授)



<12/18 あすなろ市民ゼミの様子>

2018年度地域科学研究所事業報告

1 研究プロジェクト

(1)「空家特別措置法施行後の空き家対策に関する総合的研究」

プロジェクトリーダー：岩崎 忠所員
(地域政策学部教授)

○研究期間：2016年度～2018年度

●論文検討会 プロジェクトメンバーによる研究報告および成果報告論文の検討

日時：2018年11月10日(土)

13:00～18:00

場所：本学図書館ホール

(2)「長野堰の成立と歴史的役割に関する研究」

プロジェクトリーダー：西野 寿章所長
(地域政策学部教授)

○研究期間：2017年度～2019年度

●研究会 プロジェクトメンバーによる研究報告およびアドバイザーからの助言

第3回

日時：2018年11月28日(水)

15:00～17:00

場所：本学地域科学研究所

アドバイザー：吉越 昭久氏(立命館大学名誉教授)

(3)「地方都市における中小製造業の存立基盤に関する研究」

プロジェクトリーダー：永田 瞬所員
(経済学部准教授)

○研究期間：2018年度～2020年度

●海外企業調査①

日程：2018年9月10日～13日

内容：高崎市内中小製造業の中国(香港・珠海)現地事業所調査

●海外企業調査②

日程：2019年2月18日～19日

内容：高崎市内中小製造業の中国(上海)現地事業所調査

●海外企業調査③

日程：2019年2月28日～3月2日

内容：高崎市内中小製造業の中国(上海)現地事業所調査

2 公開講演会

(1)日時：2018年6月18日(月)

16:00～17:30

場所：本学図書館ホール

講師：村田 香織氏(接点合同会社 代表社員)

テーマ：「『食品ロス』対策の現状－身近な事例から世界の事例まで－」

参加者数：50人

(2)日時：2018年11月6日(火)

16:00～17:30

場所：本学図書館ホール

講師：藤本 隆宏氏(東京大学大学院経済学研究科教授・東京大学ものづくり経営研究センター長)

テーマ：「デジタル化と日本のものづくり」

参加者数：103人

3 第3回連携公開講座

期間：2018年5月19日(土)

～6月16日(土)

時間：13:30～15:00

場所：高崎市中央公民館視聴覚集会室

参加者数(実数)：97人

(1)5月19日(土)

講師：阿部 圭司所員(経済学部教授)

テーマ：「証券と経済発展」

(2)5月26日(土)

講師：小林 啓祐特定研究員(任期制助手)

テーマ：「前橋市における2つの「戦災復興」－住宅建設を中心に－」

(3)6月2日(土)

講師：佐藤 英人所員(地域政策学部教授)

- テーマ：「東京一極集中と地方創生を考える」
- (4)6月9日(土)
講師：黒崎 龍悟所員(経済学部准教授)
テーマ：「現代アフリカ農村における自然エネルギー利用」
- (5)6月16日(土)
講師：津川 康雄所員(地域政策学部教授)
テーマ：「地域とランドマーク」
- 4 第35回公開講座
期間：2018年10月4日(木)
～12月6日(木)
時間：18:30～20:00
場所：本学6号館621教室
参加者数(実数)：85人
- (1)10月4日(木)
講師：高松 正毅所員(経済学部教授)
テーマ：「大学よ、どこへ行く－入学希望者選抜と教育改革－」
- (2)10月12日(金)
講師：佐藤 敦子所員(経済学部准教授)
テーマ：「官民連携による社会課題解決に向けたソーシャル・ファイナンスの取組み－より良い社会を求めて－」
- (3)10月18日(木)
講師：溝口 哲郎所員(経済学部教授)
テーマ：「腐敗・汚職の経済分析」
- (4)10月22日(月)
講師：向井 悠一郎所員(経済学部准教授)
テーマ：「日本の造船産業の競争力－ものづくりの視点から－」
- (5)10月30日(火)
講師：佐藤 徹所員(地域政策学部教授)
テーマ：「行政の政策過程への市民参加を考える－その意義と方法－」
- (6)11月8日(木)
- 講師：友岡 邦之所員(地域政策学部教授)
テーマ：「アーツカウンシルが変えるアートと地域との関係」
- (7)11月12日(月)
講師：野崎 謙二所員(経済学部教授)
テーマ：「タイ経済と日系企業」
- (8)11月21日(水)
講師：大澤 昭彦所員(地域政策学部准教授)
テーマ：「人口減少時代の都市計画」
- (9)11月26日(月)
講師：金光 寛之所員(地域政策学部教授)
テーマ：「成年後見制度の現状と課題」
- (10)12月6日(木)
講師：藤本 哲所員(経済学部教授)
テーマ：「仕掛けや枠で行動を誘導する」
- 5 地域めぐり
- (1)第5回「高崎市の老舗をめぐる」
日時：2018年8月8日(水)
9:30～15:30
講師：西野 寿章所長(地域政策学部教授)
コース：山田文庫－岡醤油醸造－中村染工場－豊田屋旅館－靴屋－大政雑穀店
参加者数：32人
- (2)第6回「高崎市の歴史的景観建造物をめぐる」
日時：2018年10月22日(月)
9:30～16:30
講師：吉野 矩久氏(吉野建築設計事務所)
石田 寿信氏(知恵蔵計画事務所)
コーディネーター：西野 寿章所長(地域政策学部教授)
コース：倉賀野地域－箕郷地域
参加者数：19人

- 6 地元学講座 ～12月18日(火)
- (1)第5回「小栗上野介ゆかりの地をめぐる」
 日時：2018年7月24日(火)
 9:00～15:30
 講師：村上 泰賢氏(東善寺住職)
 コーディネーター：西野 寿章所長
 (地域政策学部教授)
 コース：東善寺-道の駅くらぶち小栗の里
 -顕彰慰霊碑-くらぶち英語村-
 はまゆう山荘
 参加者数：28人
- (2)第6回「小栗上野介忠順-敗者の明治維新-」
 日時：2018年10月11日(木)
 14:20～15:50
 場所：本学1号館111教室
 講師：高橋 敏氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)
 参加者数：118人
- 7 第3回地域経営セミナー
 日時：2018年11月14日(水)
 14:00～16:00
 場所：本学図書館ホール
 テーマ：「人口減少時代の地域経営-自治体プロフェッショナルのすめ-」
 ○基調講演「人口減少時代の地域経営-自治体プロフェッショナルのすめ-」
 講師：磯崎 初仁氏(中央大学法学部教授)
 ○総合討論
 コメンテーター：岩崎 忠所員
 (地域政策学部教授)
 参加者数：28人
- 8 あすなろ市民ゼミ
 期間：2018年8月30日(木)
- 時間：18:00～20:00
 場所：cafe あすなろ(高崎市鞆町73番地)
- (1)8月30日(木)
 講師：中野 正裕所員(経済学部准教授)
 テーマ：「人口変動とマクロ経済を考える」
 参加者数：6人
- (2)9月12日(水)
 講師：福間 聡所員(地域政策学部准教授)
 テーマ：「社会正義とはなにか」
 参加者数：6人
- (3)9月28日(金)
 講師：伊藤 宣広所員(経済学部教授)
 テーマ：「ケインズを学ぶ」
 参加者数：5人
- (4)12月18日(火)
 講師：八木橋 慶一所員(地域政策学部准教授)
 テーマ：「ソーシャルビジネスを考える」
 参加者数：4人
- 9 ぐんま地域経済研究会
 (1)第2回
 日時：2018年7月4日(水)
 16:30～18:30
 場所：本学地域科学研究所
 報告者：永田 瞬所員(経済学部准教授)
 群馬経済研究所研究員
- (2)第3回
 日時：2018年10月3日(水)
 16:00～18:00
 場所：本学地域科学研究所
 報告者：藤本 哲所員(経済学部教授)
 向井 悠一郎所員(経済学部准教授)
 群馬経済研究所理事長
 群馬経済研究所研究員

(3)第4回

日時：2019年3月20日(水)
 16:00~18:00
 場所：本学地域科学研究所
 報告者：藤本 哲所員(経済学部教授)
 井上 真由美所員(経済学部准教授)

10 会議等

2018年
 4月6日(金) 運営会議
 4月25日(水) 所員会議
 5月30日(水) 運営会議
 6月6日(水) 所員会議
 9月13日(木) 運営会議
 9月19日(水) 所員会議
 12月5日(水) 運営会議
 2019年
 2月20日(水) 運営会議
 所員会議

* * * *

1.1 参加者アンケート結果(抜粋)

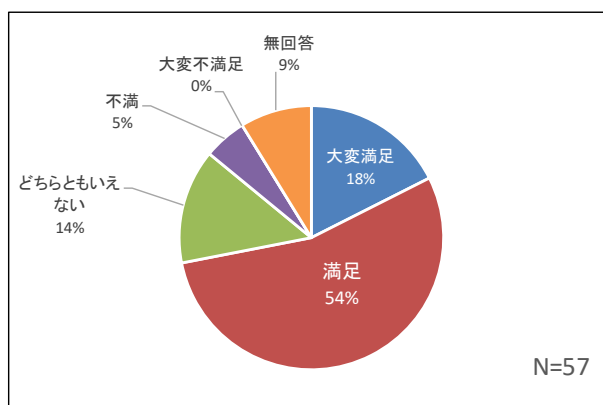
各事業の参加者アンケートの結果を紹介します。なお、第3回連携公開講座の参加者アンケート結果については、ニュースレター第9号をご覧ください。

《第35回(2018年度)公開講座》

○最終回(12/6)受講後、アンケート調査を実施。[有効回答数：57人(回収率：91.93%)]

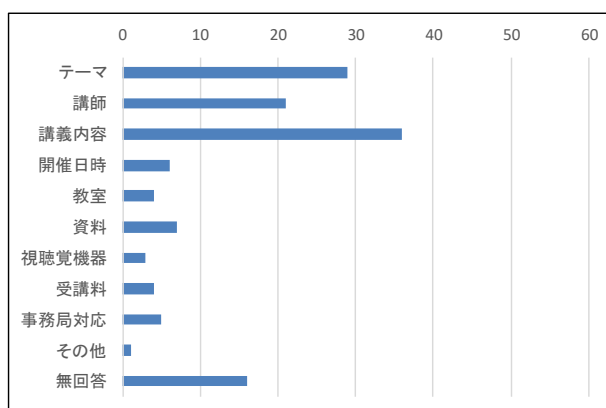
問1. 満足度

大変満足	10人
満足	31人
どちらともいえない	8人
不満	3人
大変不満足	0人
無回答	5人
合計	57人



問2. 問1で「大変満足」「満足」と回答した方が評価する点（複数回答可）や講師に向けての感想（自由記入）（抜粋）

テーマ	29人
講師	21人
講義内容	36人
開催日時	6人
教室	4人
資料	7人
視聴覚機器	3人
受講料	4人
事務局対応	5人
その他	1人
無回答	16人



※その他……写真

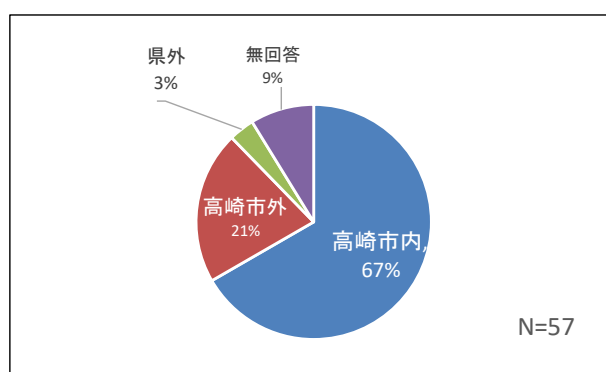
- ・ 日常のあまり気付かない所や物を取り上げて、具体的に示して下さい多面的アプローチのやり方がよく理解できました。
- ・ すごい！！先生の講義が力が入っているというか。熱弁しているのがすごく伝わってきました。教育や大学生への思い入れや熱い志が感じられました。ありがとうございました。又、お聞きしたいと思いました。
- ・ 自治体職員ですが大変良い刺激となりました。ご講義ありがとうございました。
- ・ 大変良いテーマでの講義がわかりやすくまとめられており、興味深く聞くことができました。ありがとうございました。
- ・ 良いものづくりとは、ただ生産量を増やすだけでなく、製品の魅力向上、製品の差別化を図ることが大切であると感じた。また、作業の効率化を図ることも大切だと感じた。製造業は国の産業の根幹なので、今後の技術革新に期待したい。
- ・ 高崎市で全国に先がけた市民討議会が開催されていることは驚きだった。高経大の果たす役割の大きさを感じる。
- ・ 私とは離れた課題と初めは考えていたが先生の話しに引きつけられておもしろく受講できた。テーマを一国に特化したのは内容が深まり興味深かった。
- ・ 人口減少を都市計画の面から考えることができました。空き家増加が問題になっていますが、計画的な住宅対策、都市政策が急務だと思いました。
- ・ 黒板を利用、チョーク利用、暖かみがある。かみ砕いて話をしてくれて理解できた。さて、己も70歳以上、考える事もあり有意義な講座であった。

問 3. 問 1 で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」と回答した方が指摘される点
(自由記入) (抜粋)

- ・ 内容が表面的。
- ・ 全て講義をきいてから質問したいが、その質問を書く時間がない。
- ・ 実際の生活、ビジネスに直結することがあまり感じられなかった。
- ・ 少し難しい内容だったので理解しにくい部分もありました。私自身ももう少し外交的なところの知識も積極的に吸収していかなくては・・・とも思っています。
- ・ なるほどと思うことも多かったが、抽象的なテーマで少しわかりにくい面もあった。

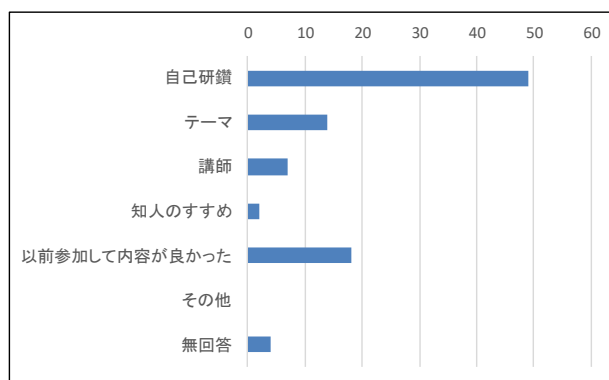
問 4. 通学・通勤・所属先の地域

高崎市内	38 人
高崎市外	12 人
県外	2 人
無回答	5 人
合計	57 人



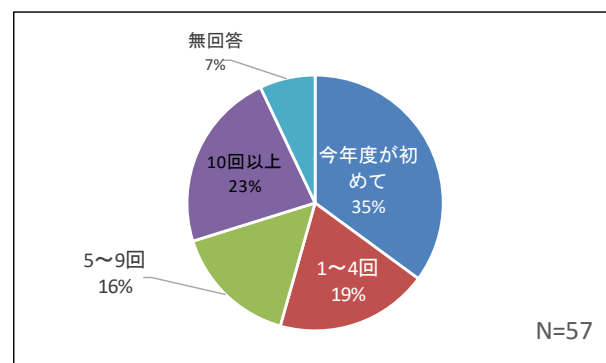
問 5. 受講の理由(複数回答可)

自己研鑽	49 人
テーマ	14 人
講師	7 人
知人に勧められた	2 人
以前参加して内容が良かった	18 人
その他	0 人
無回答	4 人



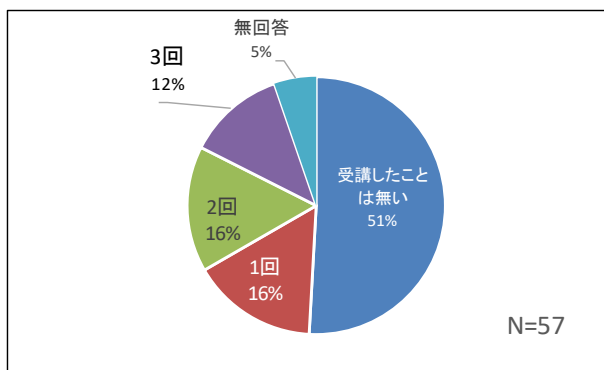
問 6. 昨年度までの受講回数 (連携公開講座も含む)

今年度が初めて	20 人
1~4 回	11 人
5~9 回	9 人
10 回以上	13 人
無回答	4 人
合計	57 人



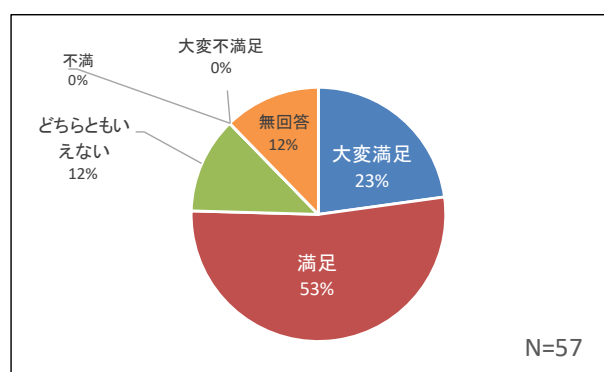
問 7. 春季連携公開講座の受講回数

受講したことはない	29人
1回	9人
2回	9人
3回	7人
無回答	3人
合計	57人



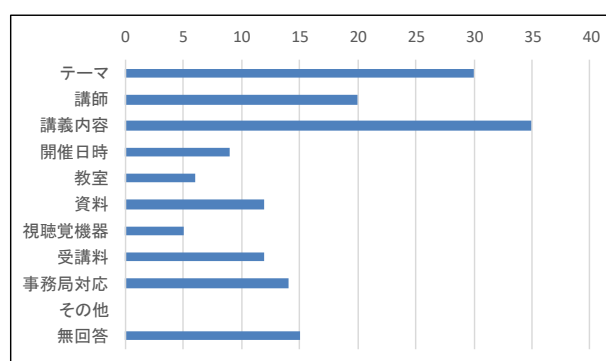
問 8. 今回講座の全体的な満足度

大変満足	13人
満足	30人
どちらともいえない	7人
不満	0人
大変不満足	0人
無回答	7人
合計	57人



問 9. 問 8で「大変満足」「満足」と回答した方が評価する点（複数回答可）

テーマ	30人
講師	20人
講義内容	35人
開催日時	9人
教室	6人
資料	12人
視聴覚機器	5人
受講料	12人
事務局対応	14人
その他	0人
無回答	15人

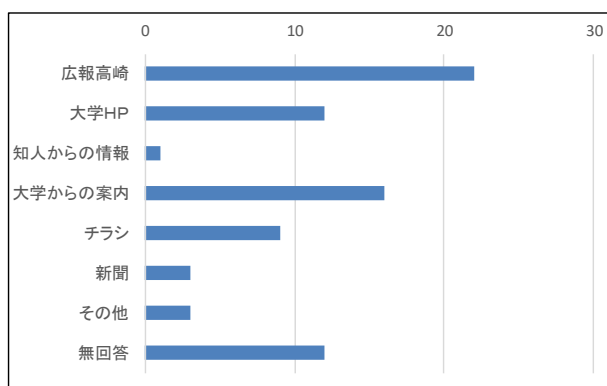


問10. 問8で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」と回答した方が挙げた改善すべき点
(複数回答可)(抜粋)

- ・ 講座の各々のテーマがすべて自分の興味あるものではなかったため。
- ・ good と bad があり+ -0 となりました！
- ・ 分野の違いに追いつけない。
- ・ 教員の質。
- ・ 共通テーマを設定していた頃の方が、内容レベルが高かった様な気がする。

問11. 本講座をお知りになったきっかけ (複数回答可)

広報高崎	22人
大学ホームページ	12人
知人からの情報	1人
大学からの案内	16人
チラシ	9人
新聞	3人
その他	3人
無回答	12人



自由記述欄 (取り上げてほしいテーマ・分野, 事務局へのご要望・お気づきの点など) (抜粋)

- ・ 事務局の丁寧な対応, おもしろいテーマの講義ありがとうございました。
- ・ やはり終了時間8時を考慮し, 質問時間を設けていただけるスケジュールは大変有難い。
- ・ 本講座は一般社会人の出席率が非常に宜しい様な気が致します。事務局は大変御苦労されると思いますが, この時間帯で続けて下さればありがたい。サラリーマンの方々でも会社終了後でもなんとか間に合う時間だと思えます。加えて自営業の方でもなんとかかなると思えます。法的な事もあると思えますが, その節は行き過ぎをお許し下さい。
- ・ 同じ講師, テーマでまた公開講座をお願いします。
- ・ 高齢社会での問題や今現在の法律など, これからの課題などをとりあげてほしいです。
- ・ 後見制度の続編をして欲しい。公開講座の中では生活に近い話して皆が興味持つと思う。
- ・ 多彩なテーマで充実していました。次年度はまた違った分野の話が聞けますことを期待しています。
- ・ 本講座の内容は大変興味深く参加できるものでした。私(61才)が学生の頃の大学の先生の授業と本講座の先生のそれは, 全く別のもので内容・プレゼン・わかりやすい説明, どれをとっても満足いくものでした。水曜日に参加している公開のリレー講座の講師の方とは比べようもない満足度でした。来期以降の開催も期待しております。

- ・身近なテーマや非日常的なテーマでも新しい発見と知識向上につながられた。来年度も機会があれば是非とも受講したい。
- ・先生達の研究されていることはとても良い、次回もよろしくお願いします。
- ・初めて参加しましたが、とても刺激になり楽しい講座でした。これからもどんなテーマでも構わないので様々な講座をしてほしいと思います。普段生活しているだけでは知らなかったことを知ることができてよかったです。これからも参加していけたらと、思っています。

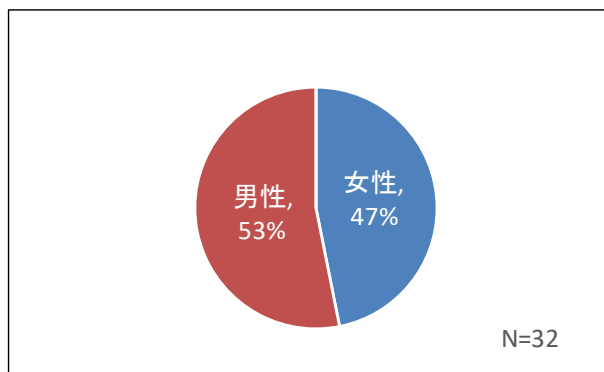
《第5回 地域めぐり「高崎市の老舗をめぐる」》

○講座終了時にアンケート調査を実施。[有効回答数：32人(回収率：100.00%)]

問1. ご自身についてお答えください。

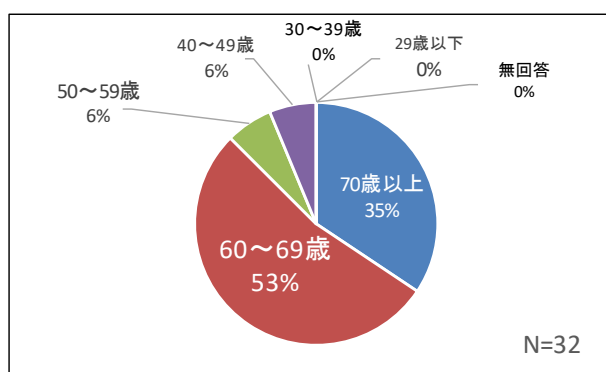
【性別】

女性	15人
男性	17人
合計	32人



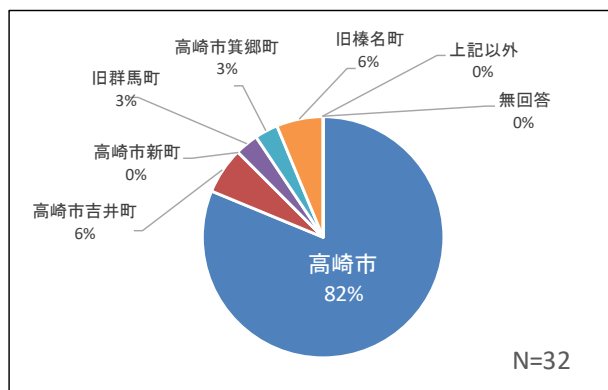
【年齢】

70歳以上	11人
60～69歳	17人
50～59歳	2人
40～49歳	2人
30～39歳	0人
29歳以下	0人
無回答	0人
合計	32人



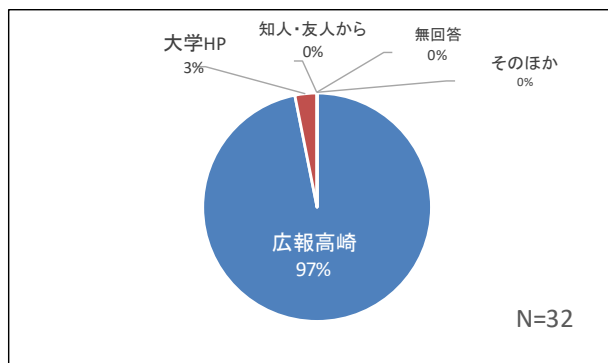
【お住まい】

高崎市	26人
高崎市吉井町	2人
高崎市新町	0人
旧群馬町	1人
高崎市箕郷町	1人
旧榛名町	2人
上記以外	0人
無回答	0人
合計	32人



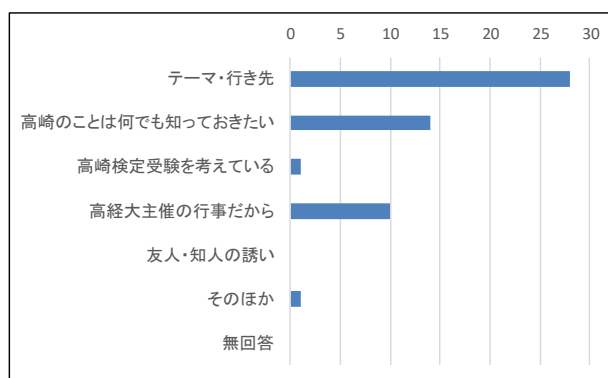
問2. 本企画をどこでお知りになりましたか

広報高崎	31人
大学のホームページ	1人
知人・友人から	0人
そのほか	0人
無回答	0人
合計	32人



問3. 参加された動機をお聞かせください。(複数回答可)

テーマ、行先に 関心があった	28人
高崎のことは何でも 知っておきたい	14人
高崎学検定の受験を 考えている	1人
高崎経済大学が 主催する行事だから	10人
友人・知人に誘われたから	0人
そのほか	1人
無回答	0人

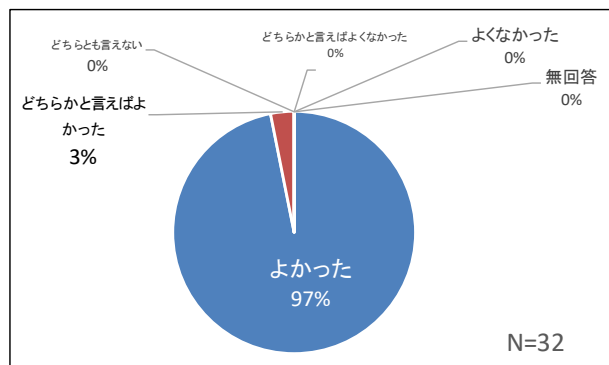


※そのほか……高崎が好きです

※テーマ……個人ではなかなか見られないものもあり、
老舗という店に興味があったから。

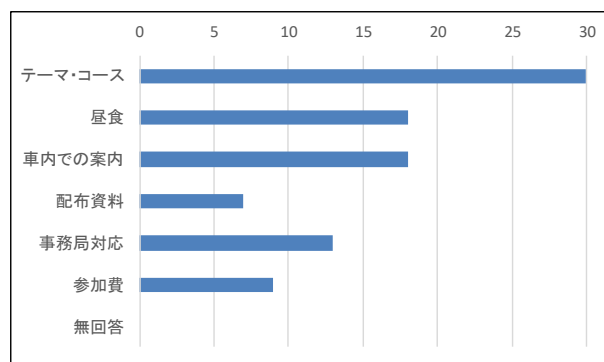
問 4. 参加された感想をお聞かせください。

よかった	31 人
どちらかと言えばよかった	1 人
どちらとも言えない	0 人
どちらかと言えばよくなかった	0 人
よくなかった	0 人
無回答	0 人
合計	32 人



問 5. 問 4 の質問において「よかった」「どちらかと言えばよかった」と回答した方のよかった点。
(複数回答可)

テーマ・コース	30 人
昼食	18 人
車内での案内	18 人
配布資料	7 人
事務局対応	13 人
参加費	9 人
無回答	0 人



【ご意見】 (抜粋)

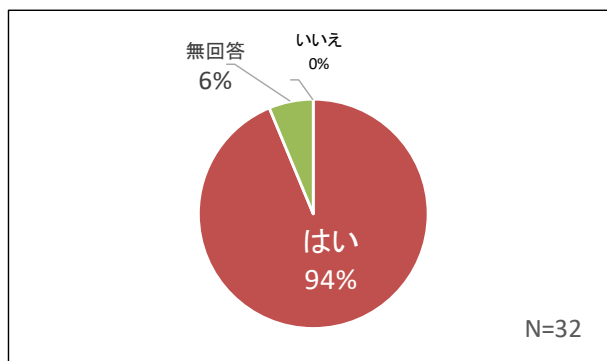
- ・気になっていたのですが、機会がなく来られなかった場所でしたので良かったです。昼食も豊田屋さんの食事が、とても美味しく満足です。お世話になりました。
- ・配布資料が参考になった。歴史のある老舗を大切にすることは、地方都市の個性を生かすことにつながると思う。
- ・すべてが良かったです。家に帰ってから家族、友達皆に今日見てきた事を伝えたいと思います。
- ・高崎のしにせを歩いて新発見しました。車内での案内もすごく良かったです。
- ・高崎の老舗を見学出来たこと。(個人ではその機会が無い)
- ・ふだん歩いている店舗("糴屋"や"大政")でしたが初めて店内に入ってみて、長くそこで商売されている姿に接して感動した。(店を担っている人々の生活があり、歴史がある)
- ・数百年の歴史を有する糴屋さんの存在には本当に驚きました。他の店、企業も含め、これからの高崎の歴史を刻むうえで珠玉の存在として残って欲しいと思いました。こうした訪問先と綿密な打合せを重ねて、今回の訪問スケジュールを企画、実行された地域科学研究所の皆様のお仕事振りに大いに感謝いたします。

問 6. 問 4 の質問において「どちらかと言えばよくなかった」「よくなかった」と回答した方のよくなかった点。

アンケート回答なし

問 7. 地域めぐりに、また参加したいと思われませんか。

はい	30人
いいえ	0人
無回答	2人
合計	32人



※どのようなテーマやコースの地域めぐりに参加したいですか。ご希望があれば教えてください
(抜粋)

- ・今回の様な老舗めぐりは、歴史の話と一緒に聞くと、とても面白いと思いました。日程が合えば、又、色々な企画に参加したいです。今回はとても良かったです。
- ・高崎の寺、神社。高崎の地域芸能、祭り。
- ・古民家をめぐるとコースに参加したいです。
- ・今回みたいな歴史のある庶民生活上にある史跡や名跡を訪ねたい。
- ・高崎が街（地方都市）として発展していく過程を残しているような場所を訪ねるようなコースをめぐってみたいと思います。

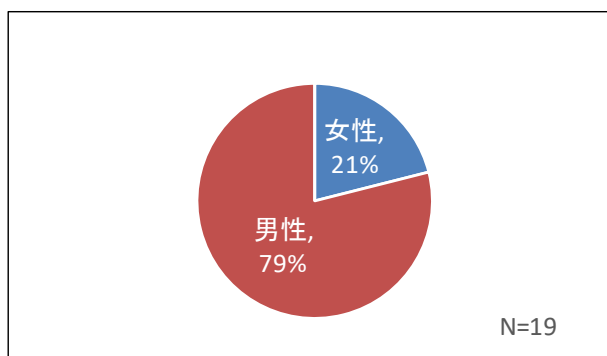
《第 6 回 地域めぐり「高崎市の歴史的景観建造物をめぐる」》

○講座終了時にアンケート調査を実施。[有効回答数：19人(回収率：100.00%)]

問 1. ご自身についてお答えください。

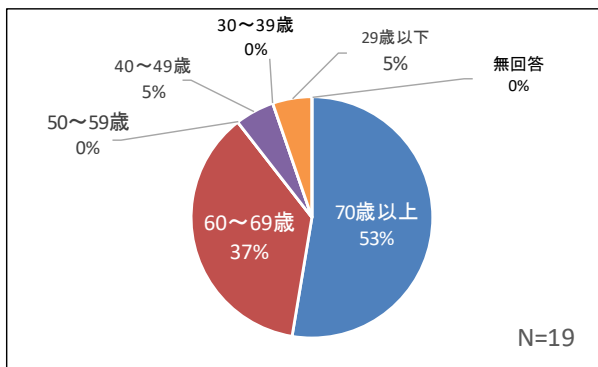
【性別】

女性	4人
男性	15人
合計	19人



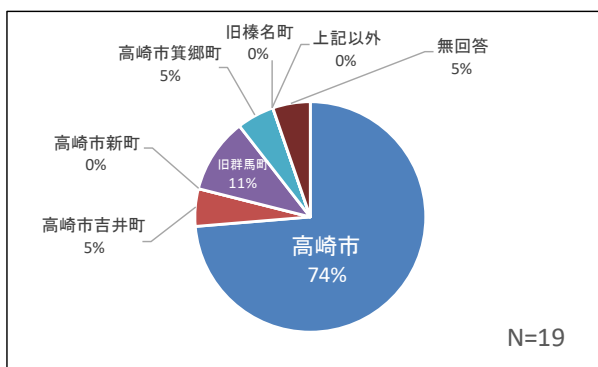
【年齢】

70歳以上	10人
60～69歳	7人
50～59歳	0人
40～49歳	1人
30～39歳	0人
29歳以下	1人
合計	19人



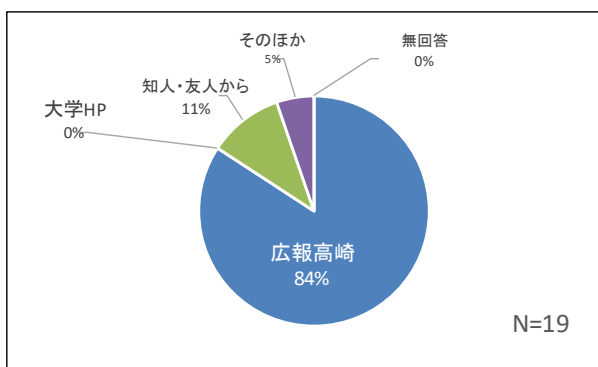
【お住まい】

高崎市	14人
高崎市吉井町	1人
高崎市新町	0人
旧群馬町	2人
高崎市箕郷町	1人
旧榛名町	0人
上記以外	0人
無回答	1人
合計	19人



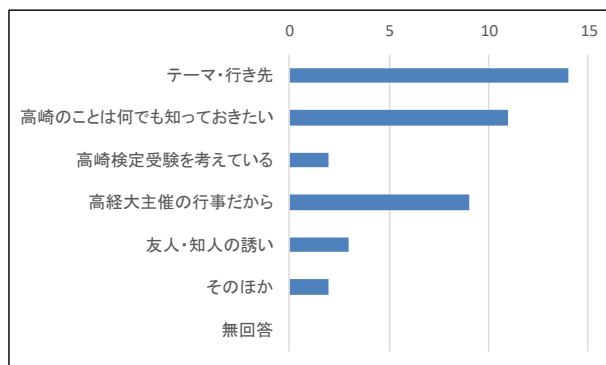
問2. 本企画をどこでお知りになりましたか

広報高崎	16人
大学のホームページ	0人
知人・友人から	2人
そのほか	1人
無回答	0人
合計	19人



問 3. 参加された動機をお聞かせください。(複数回答可)

テーマ, 行先に 関心があった	14 人
高崎のことは 何でも知っておきたい	11 人
高崎学検定の受験を 考えている	2 人
高崎経済大学が 主催する行事だから	9 人
友人・知人に誘われたから	3 人
そのほか	2 人
無回答	0 人

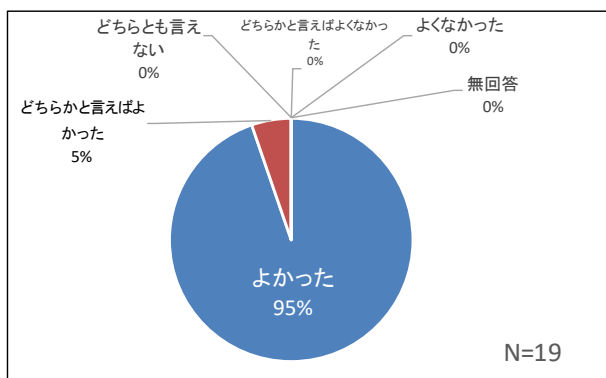


※そのほか……・思いがけない発見があり非常に楽しい1日でした。子供の頃の思い出の再見でした。

・住所地よりすぐ近くの町だったから。

問 4. 参加された感想をお聞かせください。

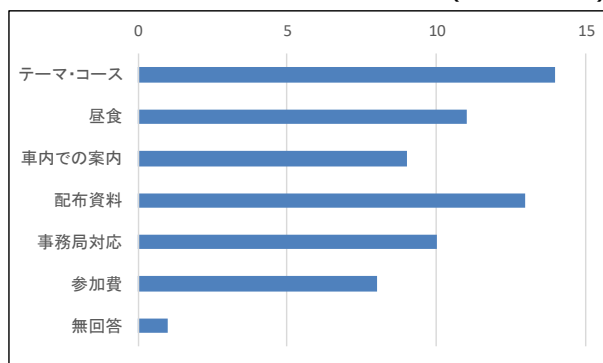
よかった	18 人
どちらかと言えばよかった	1 人
どちらとも言えない	0 人
どちらかと言えばよくなかった	0 人
よくなかった	0 人
無回答	0 人
合計	19 人



問 5. 問 4 の質問において「よかった」「どちらかと言えばよかった」と回答した方のよかった点。

(複数回答可)

テーマ・コース	14 人
昼食	11 人
車内での案内	9 人
配付資料	13 人
事務局対応	10 人
参加費	8 人
無回答	1 人



【ご意見】 (抜粋)

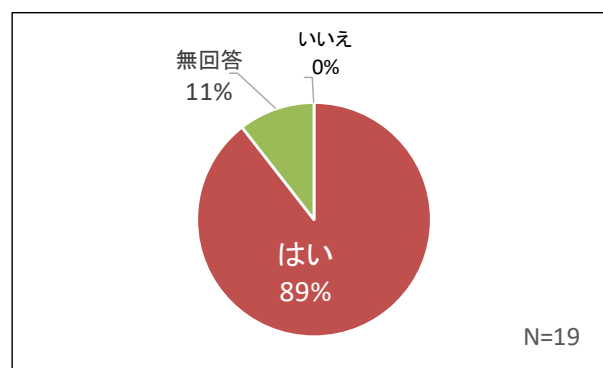
- ・ 普段はめったに行く機会のない倉賀野，箕郷に行くことが出来た。それに加えて立ち入ることのできない民間の歴史的建造物を見学するという貴重な体験ができ、高崎を知ることができました。
- ・ 全ての点で大変満足いたしました。大変お世話になりました。
- ・ 初めて知った箕郷の家々，倉賀野の街並み，実際に住んでおられる人の話をきいたり建造物の説明をきけたこと。
- ・ 専門家の説明があったのが良い。
- ・ テーマを絞って見せていただいてありがとうございました。安藤家で上の階まで上げてもらい感激でした。説明いただいた地域の方。お世話になりました。ありがとうございました。

問 6. 問 4 の質問において「どちらかと言えばよくなかった」「よくなかった」と回答した方のよくなかった点。

アンケート回答なし

問 7. 地域めぐりに、また参加したいと思われますか。

はい	17 人
いいえ	0 人
無回答	2 人
合計	19 人



※どのようなテーマやコースの地域めぐりに参加したいですか。

ご希望があれば教えてください（抜粋）

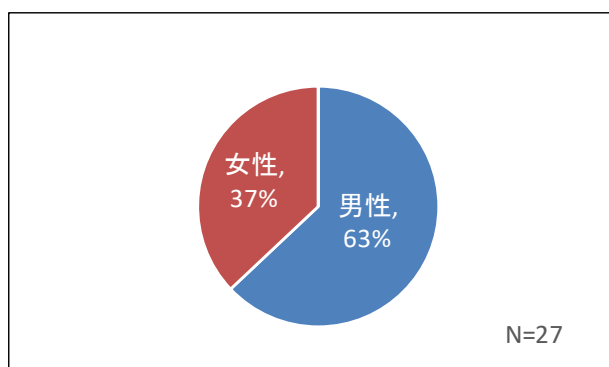
- ・ 経済人（高崎出身）の故郷を訪ねての企画を！
- ・ 以前、企業訪問（昭和電気製鋼等）のように次回は海外に輸出している製品を作っている中小企業。例えば、小島鉄工（油圧プレス）、三山鋼機のとなり（北側）で特殊な製品。原田製菓等を作っているところ。
- ・ 高崎市内の名所、旧蹟巡り。
- ・ 都市景観建造物を中心とした地域めぐり（広報たかさき等で紹介されている現代建築を中心として）。
- ・ 神社仏閣、城跡。埋蔵物等。

《第5回 地元学講座「小栗上野介ゆかりの地をめぐる」》

○講座終了時にアンケート調査を実施。[有効回答数：27人（回収率：96.42%）]

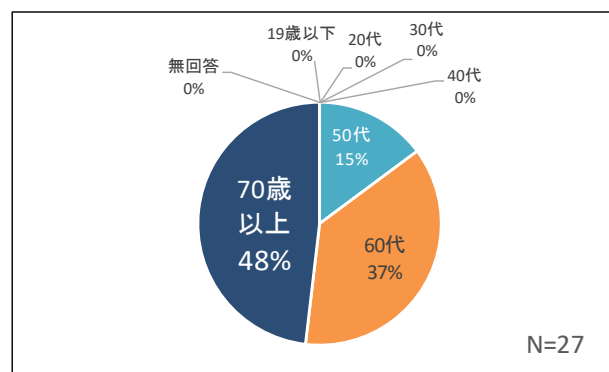
問1. 性別をお聞かせください。

男性	17人
女性	10人
合計	27人



問2. 年齢をお聞かせください。

19歳以下	0人
20代	0人
30代	0人
40代	0人
50代	4人
60代	10人
70歳以上	13人
無回答	0人
合計	27人

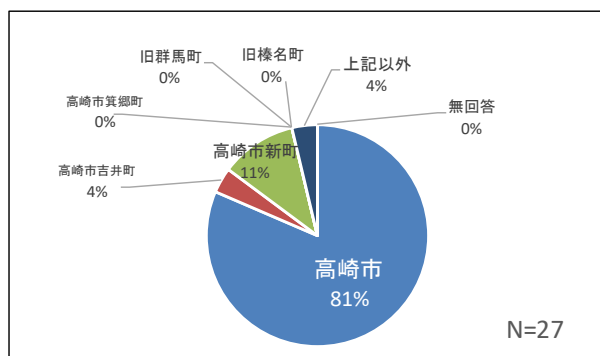


問3. お住いの地域をお聞かせください。

【お住まい】

高崎市	22人
高崎市吉井町	1人
高崎市新町	3人
高崎市箕郷町	0人
旧群馬町	0人
旧榛名町	0人
上記以外	1人
無回答	0人
合計	27人

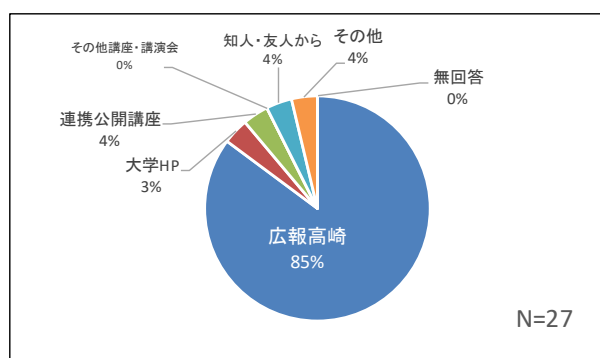
※上記以外……前橋



問4. 本企画をどこでお知りになりましたか

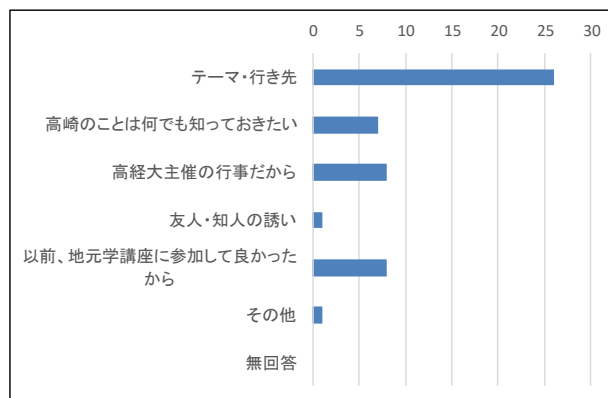
広報高崎	23人
大学のホームページ	1人
連携公開講座での案内	1人
その他講座・講演会	0人
知人・友人から	1人
その他	1人
無回答	0人
合計	27人

※その他……ダイレクトメール



問5. 受講された動機についてお聞かせください。(複数回答可)

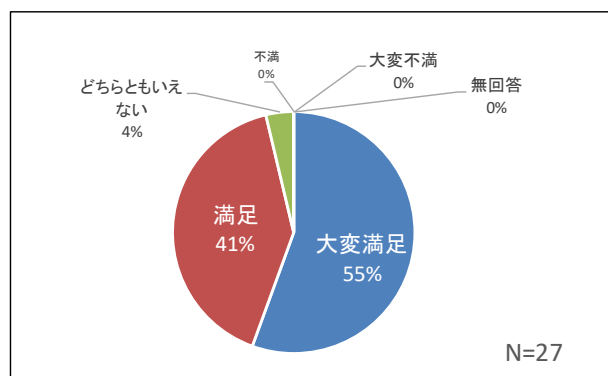
テーマ, 行き先に 関心があった	26人
高崎のことは 何でも知っておきたい	7人
高崎経済大学が 主催する行事だから	8人
友人・知人に誘われたから	1人
以前参加して良かった	8人
その他	1人
無回答	0人



※その他……小栗上野介を知りたかった

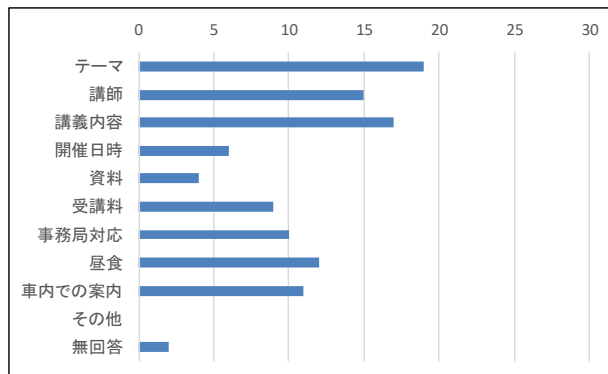
問6. 本日の講座の満足度をお聞かせください。

大変満足	15人
満足	11人
どちらともいえない	1人
不満	0人
大変不満	0人
無回答	0人
合計	27人



問7. 問6で「大変満足」「満足」とお答えいただいた方はお聞かせください。(複数回答可)
どのような点を評価いただけましたでしょうか? また, 特に良かった点があれば自由にご記入ください。

テーマ	19人
講師	15人
講義内容	17人
開催日時	6人
資料	4人
受講料	9人
事務局対応	10人
昼食	12人
車内での案内	11人
その他	0人
無回答	2人



【ご意見】(抜粋)

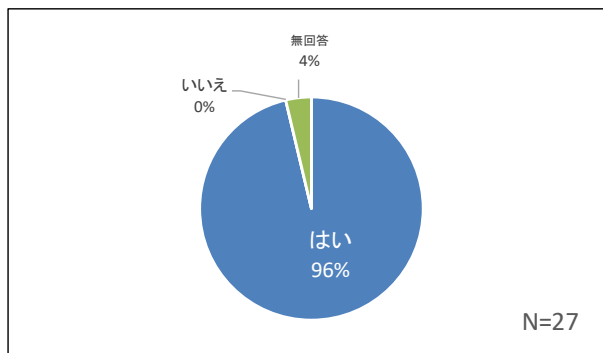
- ・小栗さんの講座は17年前から興味があったのですが, 思ったよりとても良時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・お寺さんでの説明が特に良かったです。他の施設内の見学も良かったです。
- ・知らない情報が沢山あった。村上さんの話も昼食も最高だった。
- ・小栗上野介さんの事が, これまでより良くわかってきました。そしてまた, 歴史(史実)の裏側にも目が向くようになりましたから。
- ・住職さんのお話もおもしろかったのですが, バスの中での先生の話もよかったです。先生のお気付きのように, バスの中でおしゃべりしていた人がいたのは残念でした。

問8. 問6で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」とお答えいただいた方は, 具体的に記入してください。

- ・小栗テーマなら英語村とは? 酒屋(大盃)に寄るべき

問 9. 地元学講座にまた参加したいと思いますか。

はい	26 人
いいえ	0 人
無回答	1 人
合計	27 人



問 10. 取り上げてもらいたい高崎市の歴史や民俗、現状の問題や課題などございましたらご記入ください。また、事務局へのご要望、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

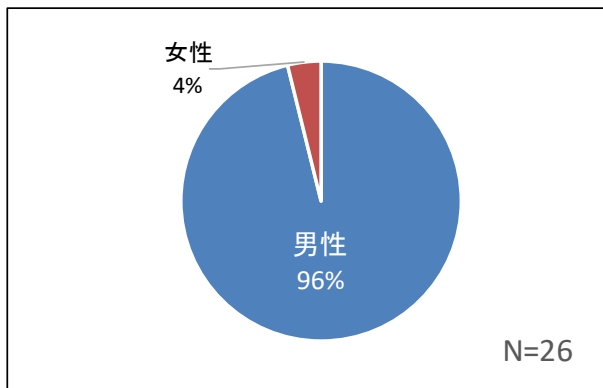
- ・高崎の鉄道施設見学をしてみたい。JR 東日本高崎支社や高崎車両センター高崎支所、高崎機関区など。
- ・企業見学を日程にいれてもらえると、地元の企業内容がわかりありがたいです。
- ・新町紡績所について。
- ・地元の事を色々知りたいとの好奇心があり、特にその歴史的な成り立ち、経緯等、課題に焦点をあて、今後とも開催していただければ今後とも参加したい。
- ・史蹟、文化財、商家。
- ・箕輪城跡について。

《第 3 回地域経営セミナー》

○受講者 28 人 [有効回答数 : 26 人 (回収率 : 92.85%)]

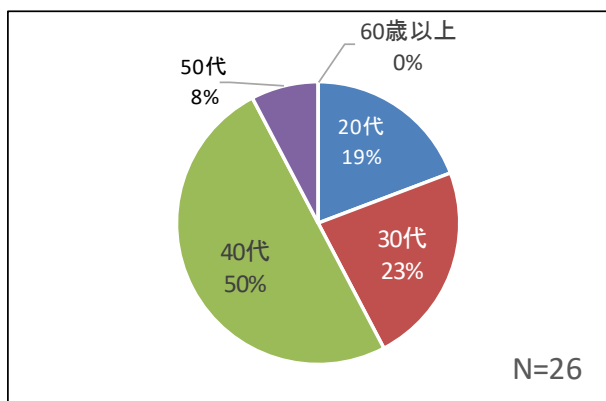
【性別】

男性	25 人
女性	1 人
合計	26 人



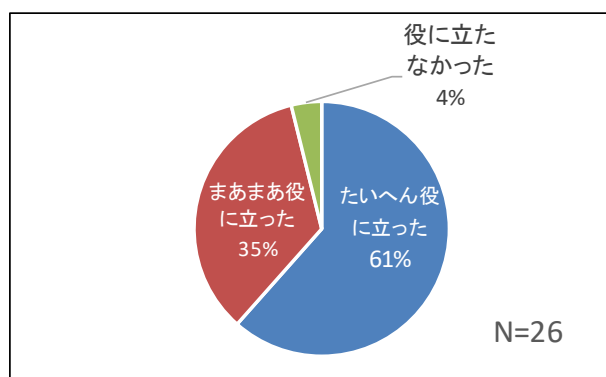
【年齢】

20代	5人
30代	6人
40代	13人
50代	2人
60歳以上	0人
合計	26人



問 1. 本日の講演は日頃の業務に役立ちましたか

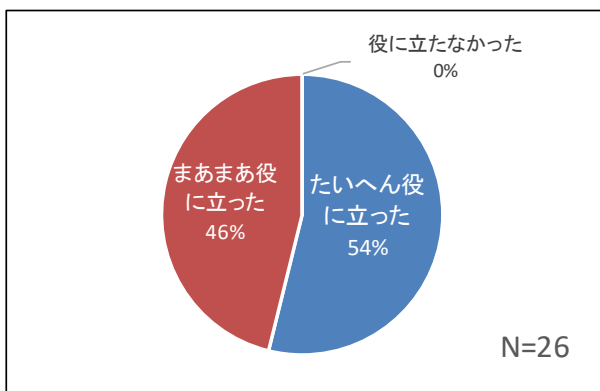
たいへん役に立った	16人
まあまあ役に立った	9人
役に立たなかった	1人
合計	26人



- ・ 地方分権改革から地方創生の問題点，その解決する方向性等大変有意義であった。一方人事制度の硬直化がひどい中で，自治体プロフェッショナルを目指すのは大変な困難であると感じた。
- ・ 現場を知っており面白い切り口があった。設定された時間に対し，多くのことを詰めこんだためか，深掘り不足の感があった。
- ・ 人口減が問題となっている現在，自治体として職員として今後どう対応していくか参考になりました。
- ・ 地域政策について業務経験が浅いため大変参考になりました。町村職員として危機を持っています。自分の町村の状況をふまえながらお話を聞けましたので今回の内容をしっかり持ち帰ります。
- ・ 今後，公共施設の老朽化等，維持していくのが困難になる。コストを考えた計画をして財政面を考えていく。

問 2. 本日のセミナーの討論について

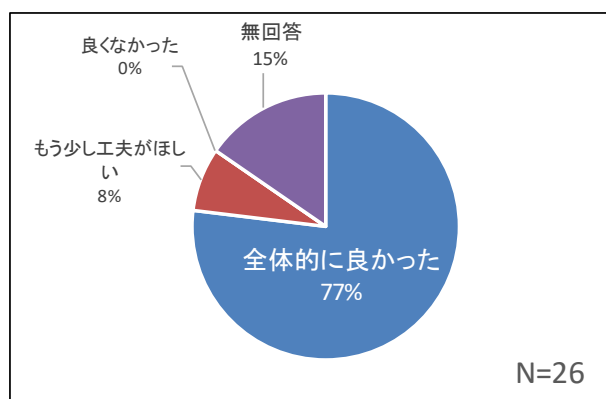
たいへん役に立った	14人
まあまあ役に立った	12人
役に立たなかった	0人
合計	26人



- ・小生は市町村職員であるが、県の役割についてその存在意義を感じていない。今後県の存在発揮に期待したい。ただの連絡調整役にしかなくなっておらず、むしろ事務停滞を招いているケースもある。
- ・民間の使い方は“これからの課題”。DMOなどの推進でも上司などの理解が進まない。地域資源として整理する考え方、指標の作り方を示してもらえるとやりやすい。
- ・1つの質問に対し、複数の着眼点を見つけ、それぞれに触れつつ自論に展開していく話の流れは参考にしたい。
- ・権限移譲や業務が多様化し、業務が多くなっている中で仕事を通じてプロフェッショナルとなる努力はしていかなければならないし、部下にもそのように教えていきたいと考えています。
- ・研究者のお立場でもう少し具体例を参考に考察を入れてほしい。
- ・論点が絞られていて自分自身とても勉強になった。時間の都合であまり色々な人からの質問が聞けなかったのは少し残念だった。
- ・「与えられた状況の中でキャリアをみがく」という言葉に勇気をもらいました。
- ・職場、自分の強みをだし個人の専門化をめざす。

問3. 本日のセミナー全体の評価について

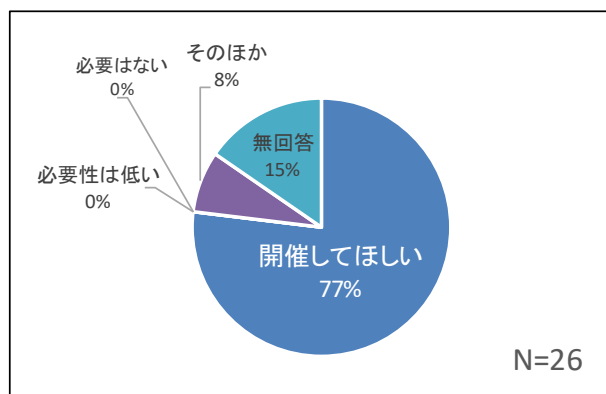
全体的に良かった	20人
もう少し工夫がほしい	2人
良くなかった	0人
無回答	4人
合計	26人



- ・参加者の意見を聞く時間が短い（事前アンケートなどあると良い）
- ・県内の自治体の参加率を高められると良い。内容は聞きやすく良かった。
- ・気楽に参加できるという点では短時間で良い。テーマを絞るか、時間を延ばせば、仕事に直結する学びが得られる期待値が上がると思う。
- ・もっと多くの人（職員、議員、学生）にきいてほしいです。
- ・対象が違うからかもしれないが、内容は学生である私にとって興味深いものばかりで、もっと多くの学生に聞いてほしいと思った。

問 4. (自治体職員対象のセミナー) 今後も開催した方がよろしいでしょうか

開催してほしい	20人
必要性は低い	0人
必要はない	0人
そのほか	2人
無回答	4人
合計	26人



※そのほか……・自治体職員に限る必要はない
・自治体の新採研修とすべき

質問 5. 今後、このセミナーで取り上げてもらいたいテーマや講師名など (抜粋)

- ・セミナーの内容の概要を庁内で共有できるルートを作ってほしい。多くの職員に経営や戦略の視点をもってほしい。
- ・個人的に地方分権時代において、地域住民の発言権が増しているなかで“住民コンセンサス”にとっても興味を持っている。機会があればお願いしたい。

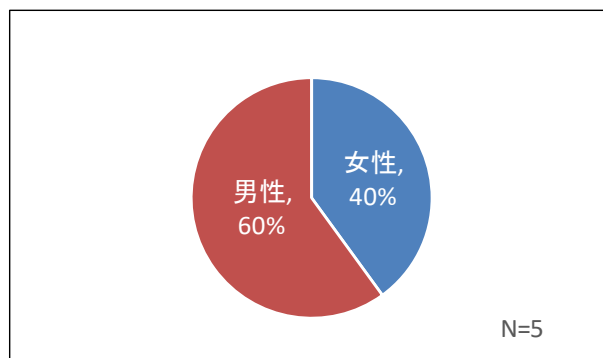
《第1回あすなろ市民ゼミ》

- 8月30日のゼミ (講師：中野正裕所員) 終了後、アンケートを配付し、後日返送により回収。
[有効回答数：5人 (回収率：83.33%)]

問 1. ご自身についてお答えください。

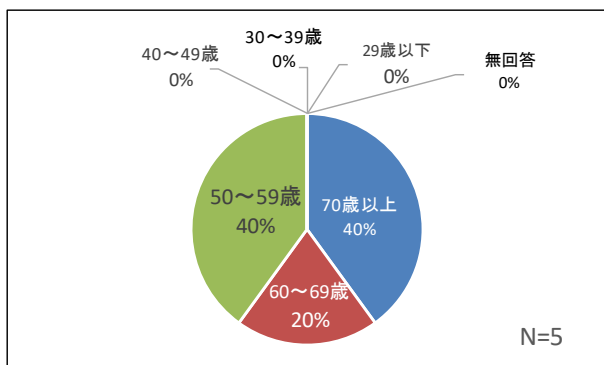
【性別】

女性	2人
男性	3人
合計	5人



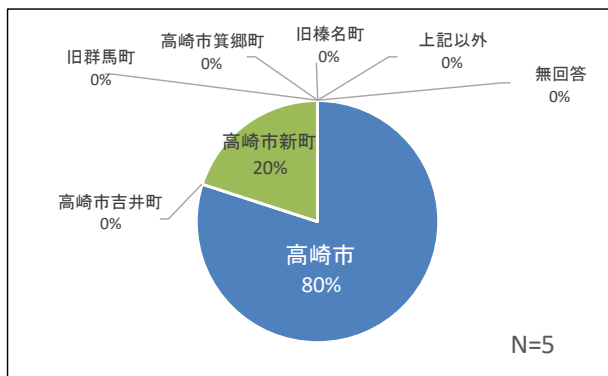
【年齢】

70歳以上	2人
60～69歳	1人
50～59歳	2人
40～49歳	0人
30～39歳	0人
29歳以下	0人
無回答	0人
合計	5人



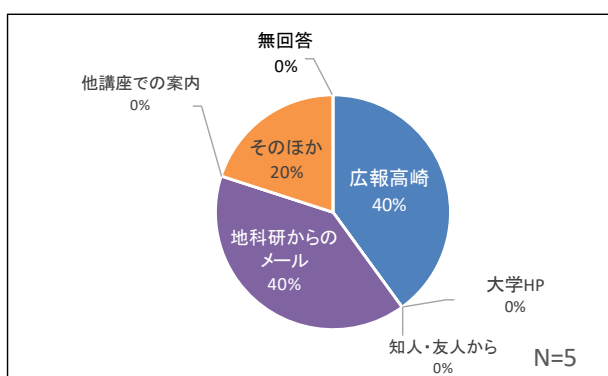
【お住まい】

高崎市	4人
高崎市吉井町	0人
高崎市新町	1人
旧群馬町	0人
高崎市箕郷町	0人
旧榛名町	0人
上記以外	0人
無回答	0人
合計	5人



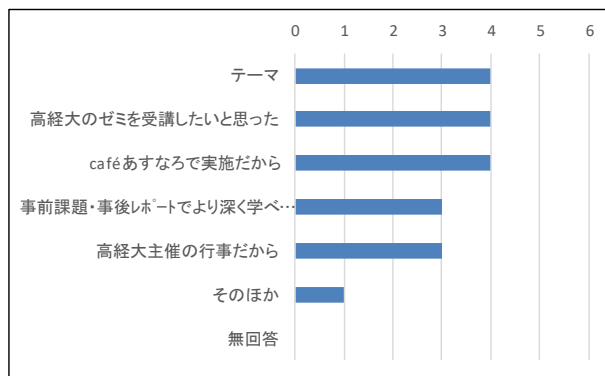
問2. 本企画をどこでお知りになりましたか

広報高崎	2人
大学のホームページ	0人
知人・友人から	0人
地域科学研究所からのメール	2人
他講座での案内	0人
そのほか	1人
無回答	0人
合計	5人



問 3. 受講された動機をお聞かせください。(複数回答可)

テーマに関心があった	4人
高崎経済大学のゼミを受講したい	4人
Cafe あすなろで実施するから	4人
事前課題や事後レポートでより深く学べるから	3人
高崎経済大学主催だから	3人
そのほか	1人
無回答	0人

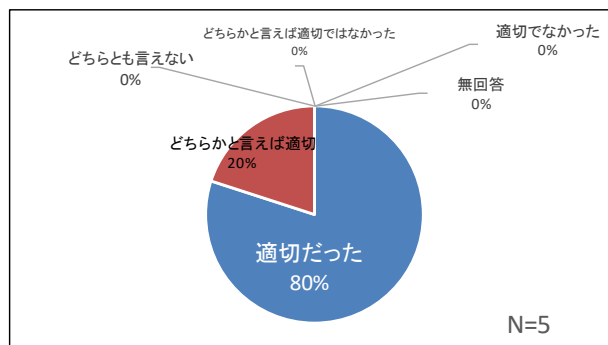


※そのほか……・車に乗らずとも来られる「街中」でのセミナーであったので

問 4. 受講された感想をお聞かせください。

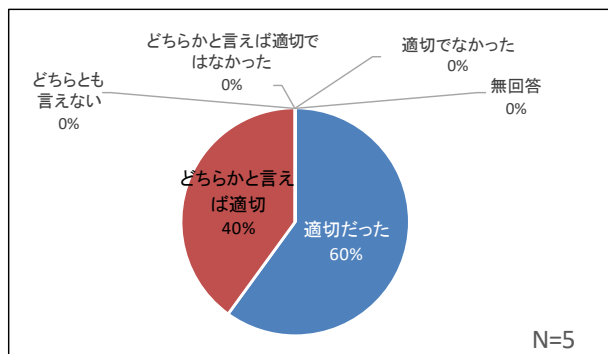
【テキストは適切でしたか】

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



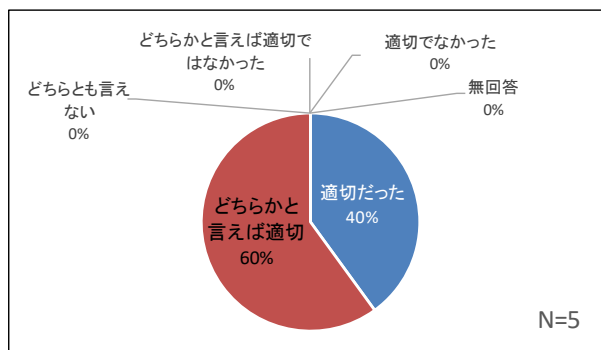
【受講前の課題は適切でしたか】

適切だった	3人
どちらかと言えば適切	2人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



【担当講師のゼミ授業は適切でしたか】

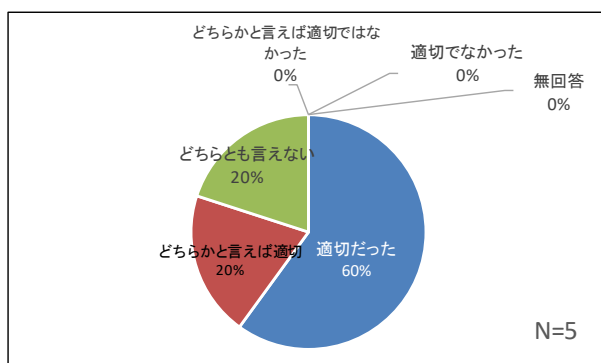
適切だった	2人
どちらかと言えば適切	3人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



・テーマが“人口（減少）”と“マクロ経済”，大きなテーマ過ぎて2時間では不足。例えば“群馬県における～”と続けば，吉岡村の0～14，75以上の人口比の特異点など身近な具体性を帯びて興味が深まった。

【事後レポートの課題は適切でしたか】

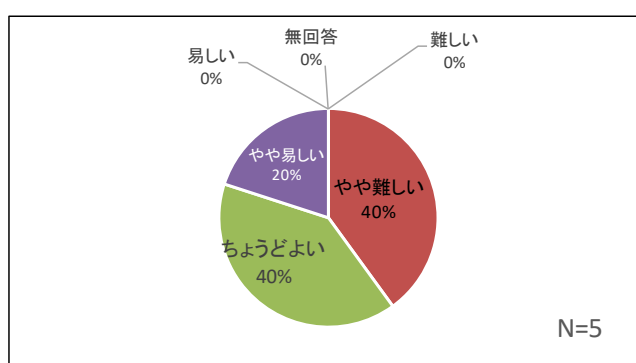
適切だった	3人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



・適切と思うが，講師の方からテーマを示していただいて，それについてレポートを書くスタイルでもよいと思う。その際，複数のテーマを示していただいて選択して書けるといいと思う。

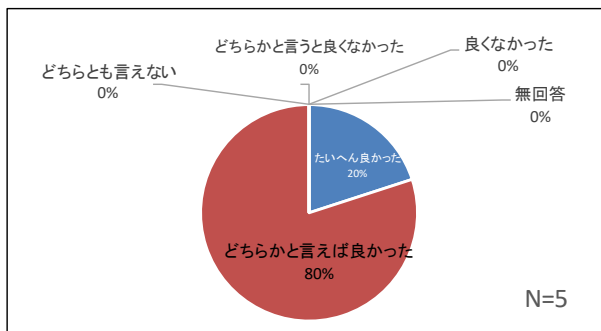
問5. 受講された市民ゼミナールの難易度についてお聞かせください。

難しい	0人
やや難しい	2人
ちょうどよい	2人
やや易しい	1人
易しい	0人
無回答	0人
合計	5人



問6. 受講を終えられて、市民ゼミナール全体の感想をお聞かせください。

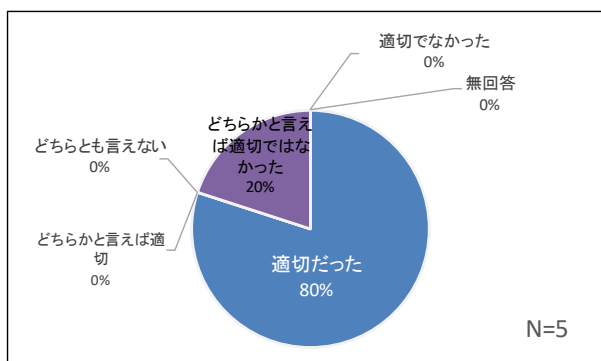
たいへん良かった	1人
どちらかと言えば良かった	4人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば良くなかった	0人
良くなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



・深い内容なので時間的に難しいと思うが、もう少しディスカッションに時間がとれるといいなと感じた。

問7. Cafe あすなろで開催しましたが、いかがでしたでしょうか。

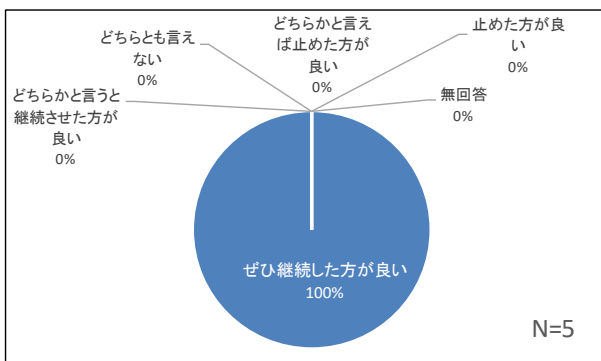
適切だった	4人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	1人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



・若干難聴の故、周囲の小さな雑音、空調機の運転音、先生の声の反響で聴き取りにくいときがあった。

問8. この市民ゼミナールは今後も継続した方がよろしいでしょうか。

ぜひ継続したほうが良い	5人
どちらかと言うと継続させたほうが良い	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば止めたほうが良い	0人
止めたほうが良い	0人
無回答	0人
合計	5人



問9. 市民ゼミナールで取り上げると良いと考えられるテーマがありましたら、教えて下さい。

- ・ ① 高崎市を県外や大きくは日本がどの様に評価しているか。② 群馬には歴史があり数々の文化もあり、そして立派な人物もおられます。
- ・ ① 高崎市は、将来どのように発展していくのか。地の利を活かして戦略的に活動しているのか、いけるのか。② SDGSの将来動向。
- ・ ① 今回、吉岡町で若い世代の人口が増加しているという話を聞きました。日本中で、人口流出に対して様々な試みをしていると思います。いくつかの成功しているケースを経済学や人口動向の面から（学術的な面から）解説してほしいです。② アベノミクスのプラス面、マイナス面、アベノミクスを支える経済理論について考えてみたいです。
- ・ 高崎の発展のために必要なこと・ものは何か意見を出し合うのも良いと思う。

問10. 高崎経済大学の市民向け事業全般について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

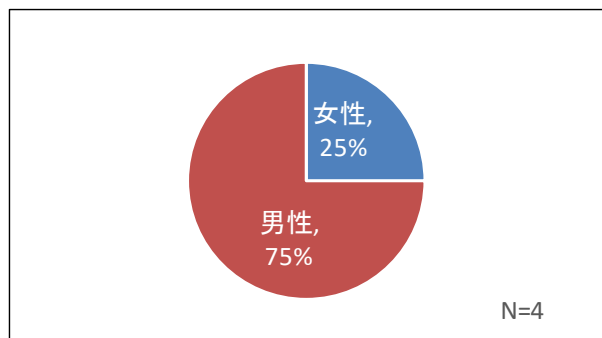
- ・ 以前提出したアンケートと重複するかも知れませんが先ずはリレー講義。これだけの御歴々の講師の方々をお迎えして、受講させていただくには3年間位かかると思います。それをわずか9ヶ月位で拝聴出来る事は、素晴らしくありがたい事です。同じく公開講座も教授の皆様が私達に解り易く懇切丁寧にお話して下さい、私如き者でも良く理解出来ます。従って世間が広くなった様な気が致します。以上、事務局も大変でしょうがお続けいただければ幸甚です。もっともっと市民に向けて広げれば直しいのではないかと思います。
- ・ 今後ともよろしく願います。楽しみにしています。
- ・ 地域に開かれた大学であってほしいです。今回、あすなる (café) を使用してのゼミナールという点良いと思います。群馬は車社会といわれていますね。しかし、実際には「1人1台」というわけではなく、高経大まで公開ゼミ等に行きたくても行けない人もいます。その点、大学が旧市内や“街なか”まで来てくれたのはあり難いです。ぜひ、続けて下さい。café あすなるで、コーヒーを飲みながら、というのも開放的で良いです。
- ・ 市民向けのゼミを開催しているのを続けて欲しいと思う。

○9月12日のゼミ（講師：福間聡所員）終了後、アンケートを配付し、後日返送により回収。
 [有効回答数：4人（回収率：66.66%）]

問1. ご自身についてお答えください。

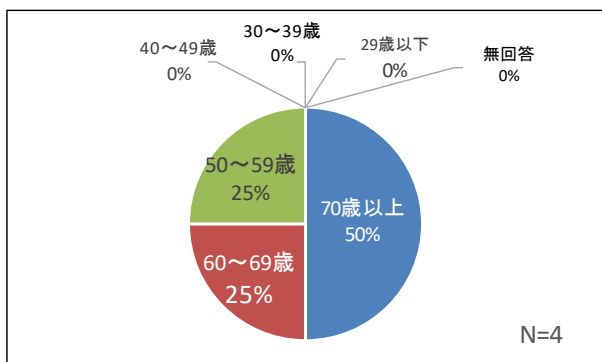
【性別】

女性	1人
男性	3人
合計	4人



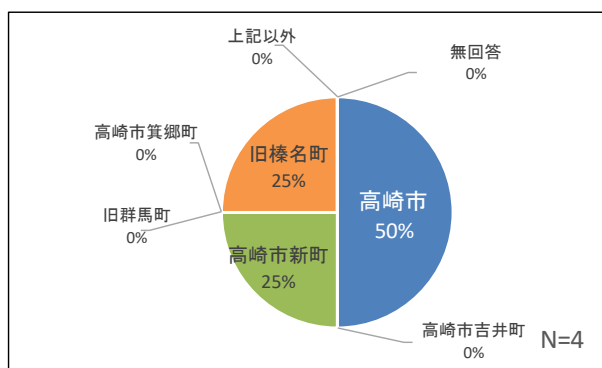
【年齢】

70歳以上	2人
60～69歳	1人
50～59歳	1人
40～49歳	0人
30～39歳	0人
29歳以下	0人
無回答	0人
合計	4人



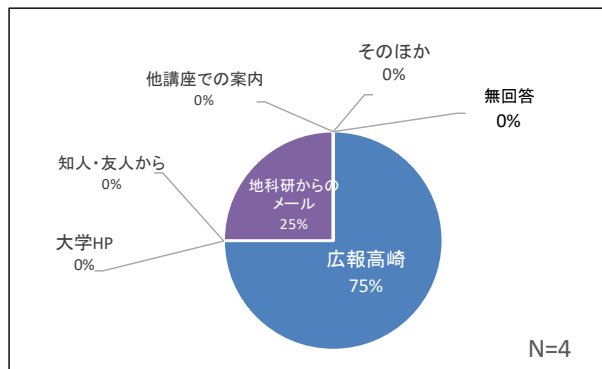
【お住まい】

高崎市	2人
高崎市吉井町	0人
高崎市新町	1人
旧群馬町	0人
高崎市箕郷町	0人
旧榛名町	1人
上記以外	0人
無回答	0人
合計	4人



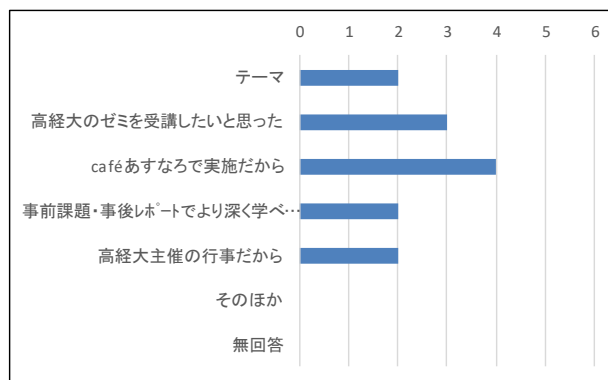
問 2. 本企画をどこでお知りになりましたか

広報高崎	3人
大学のホームページ	0人
知人・友人から	0人
地域科学研究所からのメール	1人
他講座での案内	0人
そのほか	0人
無回答	0人
合計	4人



問 3. 受講された動機をお聞かせください。(複数回答可)

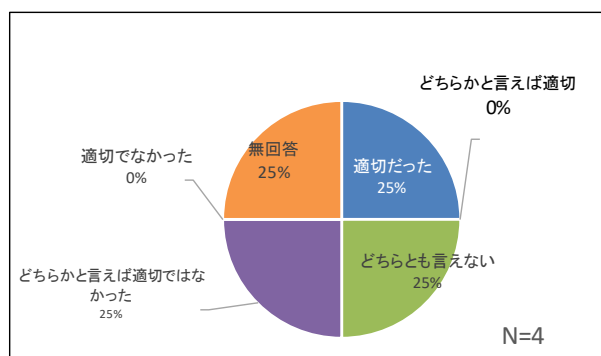
テーマに関心があった	2人
高崎経済大学のゼミを受講したい	3人
Cafe あすなろで実施するから	4人
事前課題や事後レポートでより深く学べるから	2人
高崎経済大学主催だから	2人
そのほか	0人
無回答	0人



問 4. 受講された感想をお聞かせください。

【テキストは適切でしたか】

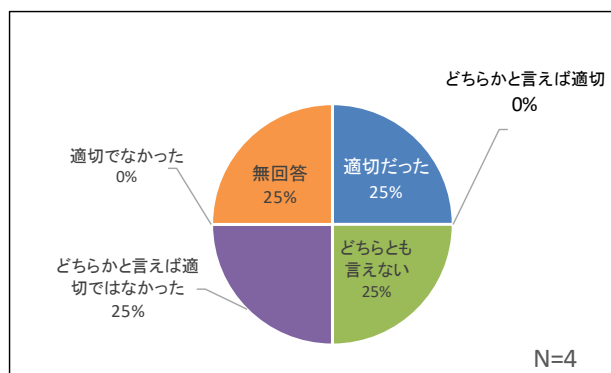
適切だった	1人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば適切でない	1人
適切ではなかった	0人
無回答	1人
合計	4人



- ・専門用語が多く、言い回しも難しく理解、読み進めるのに時間がかかった。
- ・自分の考え方との違いを感じ、なかなかなじめなかった。

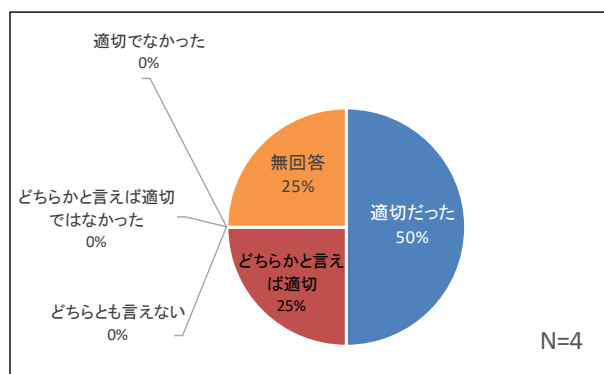
【受講前の課題は適切でしたか】

適切だった	1人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば適切でない	1人
適切ではなかった	0人
無回答	1人
合計	4人



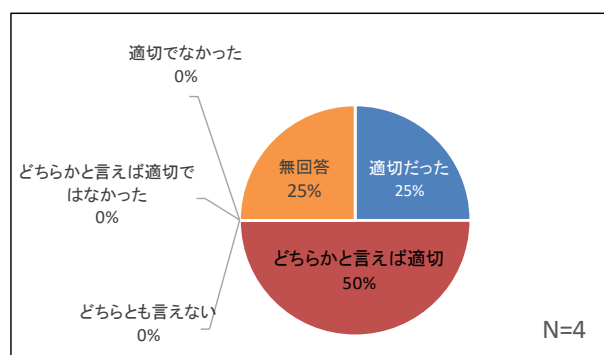
【担当講師のゼミ授業は適切でしたか】

適切だった	2人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	1人
合計	4人



【事後レポートの課題は適切でしたか】

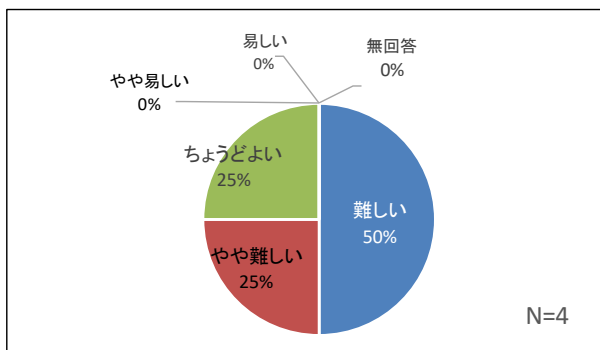
適切だった	1人
どちらかと言えば適切	2人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	1人
合計	4人



- ・適切と思うが、講師の方からテーマを示していただいて、それについてレポートを書くスタイルでもよいと思う。その際、複数のテーマを示していただいて選択して書けるといいと思う。

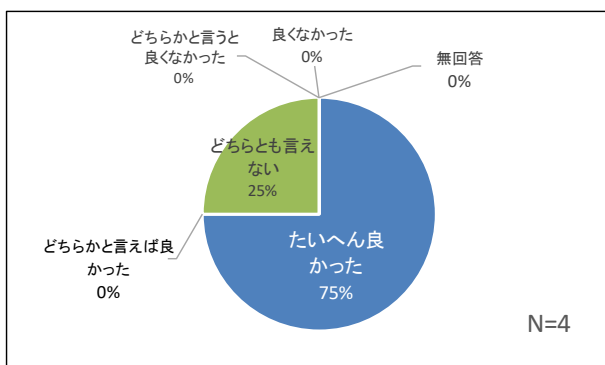
問5. 受講された市民ゼミナールの難易度についてお聞かせください。

難しい	2人
やや難しい	1人
ちょうどよい	1人
やや易しい	0人
易しい	0人
無回答	0人
合計	4人



問6. 受講を終えられて、市民ゼミナール全体の感想をお聞かせください。

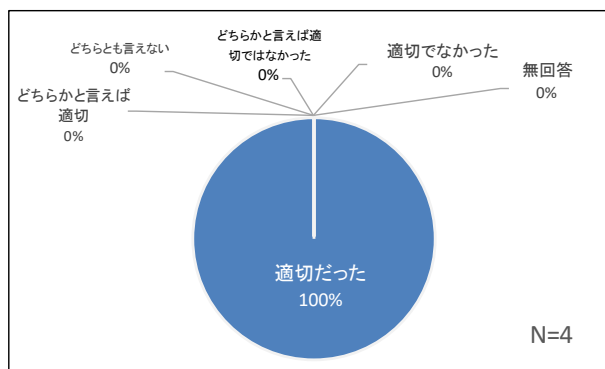
たいへん良かった	3人
どちらかと言えば良かった	0人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば良くなかった	0人
良くなかった	0人
無回答	0人
合計	4人



- ・改めて正義について考える機会があったのは良かったが、テキストを書いた先生や授業に出て下さった先生と「一般の人」と感覚がちがうかも知れないと感じた。もう少し意見を述べ合う時間があったら良かった。

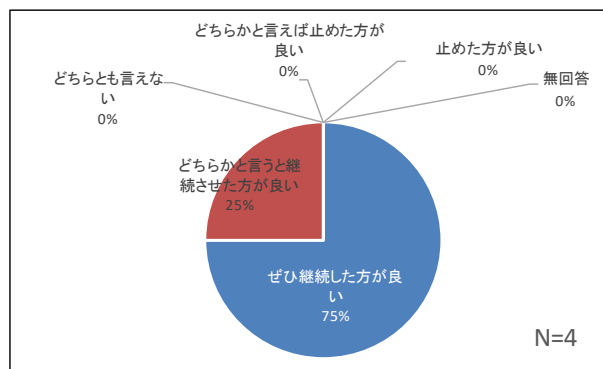
問7. Cafe あすなろで開催しましたが、いかがでしたでしょうか。

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	4人



問 8. この市民ゼミナールは今後も継続した方がよろしいでしょうか。

ぜひ継続したほうが良い	3人
どちらかと言うと継続させたほうが良い	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば止めた方が良い	0人
止めた方が良い	0人
無回答	0人
合計	4人



問 9. 市民ゼミナールで取り上げると良いと考えられるテーマがありましたら、教えて下さい。

- ・老舗廻りをして特に感じたのであるが高崎にはまだまだ埋れた尊い歴史がある。このままでは風化する。掘起して後世に伝えたい。
- ・今回の「社会正義とは何か」は何回か取り上げた方が良くと思います。正義に欠ける人が多く、色々な問題を抱えている世の中なので。

問 10. 高崎経済大学の市民向け事業全般について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

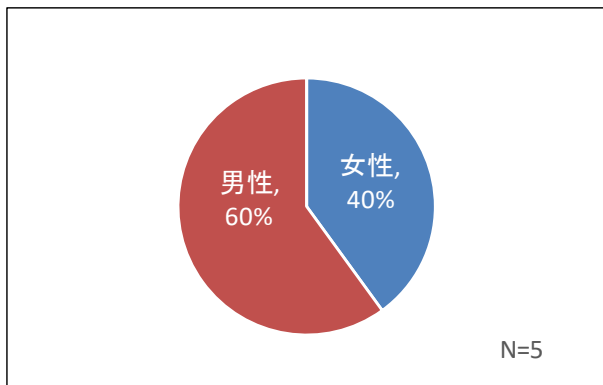
- ・貴大学の所在は大部分の方々が認識しております。如何に足を運んでいただけるかと思えます。市もそれなりに協力して下さっていると思えますが、幸い市長は教育関係に携わった方です。理解が早いと思えます。まずは市の職員が休日を活用して拝聴するか公報にはもう少し大きく公開講座を発表したら如何ですか。現状では見落としがあると思えます。何分にも入場無料が多く貴局も御苦労が多いと思えます。この講座は高崎市民自己研鑽のために役に立つ講座と思えます。

○9月28日のゼミ（講師：伊藤宣広所員）終了後、アンケートを配付し、後日返送により回収。
 [有効回答数：5人（回収率：100.00%）]

問1. ご自身についてお答えください。

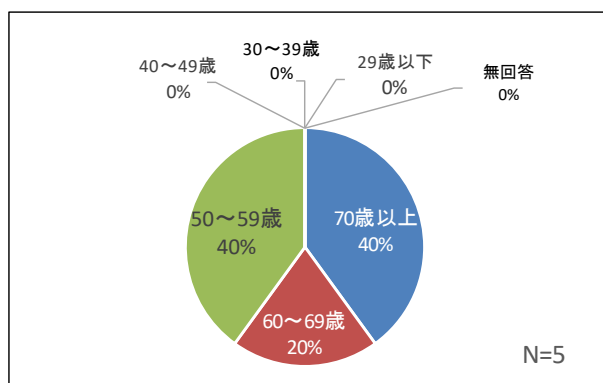
【性別】

女性	2人
男性	3人
合計	5人



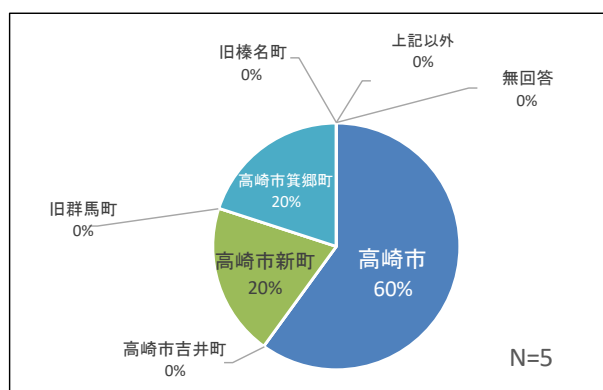
【年齢】

70歳以上	2人
60～69歳	1人
50～59歳	2人
40～49歳	0人
30～39歳	0人
29歳以下	0人
無回答	0人
合計	5人



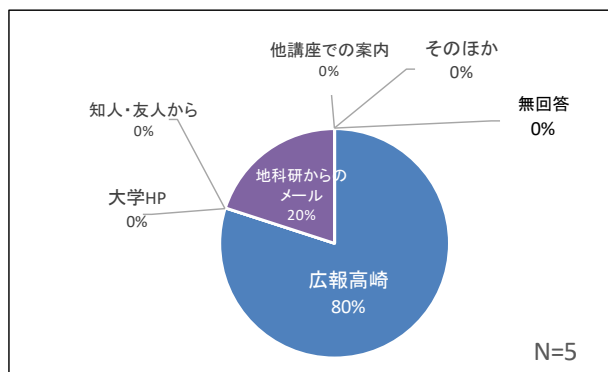
【お住まい】

高崎市	3人
高崎市吉井町	0人
高崎市新町	1人
旧群馬町	0人
高崎市箕郷町	1人
旧榛名町	0人
上記以外	0人
無回答	0人
合計	5人



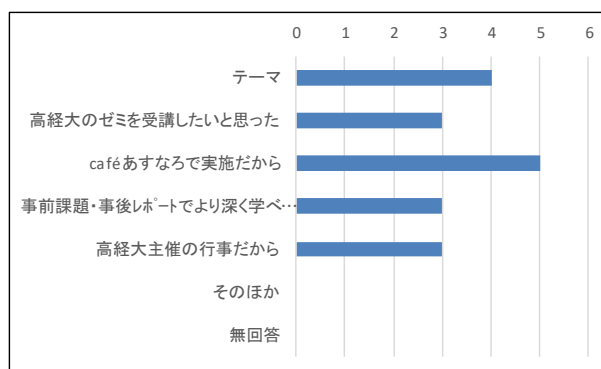
問 2. 本企画をどこでお知りになりましたか

広報高崎	4人
大学のホームページ	0人
知人・友人から	0人
地域科学研究所からのメール	1人
他講座での案内	0人
そのほか	0人
無回答	0人
合計	5人



問 3. 受講された動機をお聞かせください。(複数回答可)

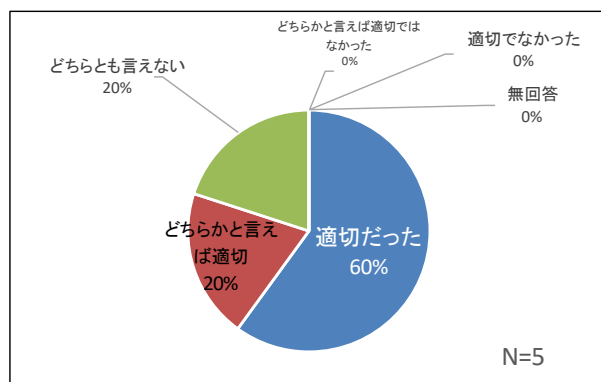
テーマに関心があった	4人
高崎経済大学のゼミを受講したい	3人
Cafe あすなろで実施するから	5人
事前課題や事後レポートでより深く学べるから	3人
高崎経済大学主催だから	3人
そのほか	0人
無回答	0人



問 4. 受講された感想をお聞かせください。

【テキストは適切でしたか】

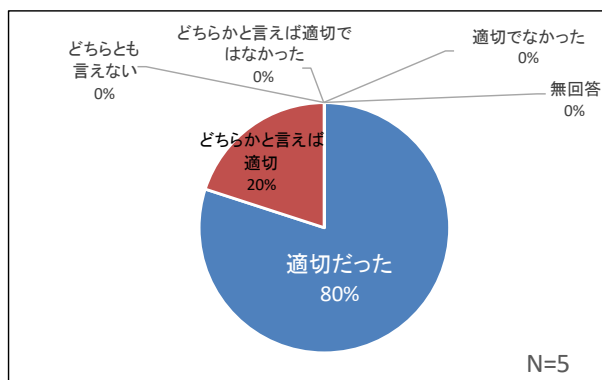
適切だった	3人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



- ・わかり易い良書であった。テキストで紹介されていた参考文献も興味を持って読んだ。
- ・経済学を学ぶのが初めてで難しかった。これを機会に勉強してゆきたいと思う。

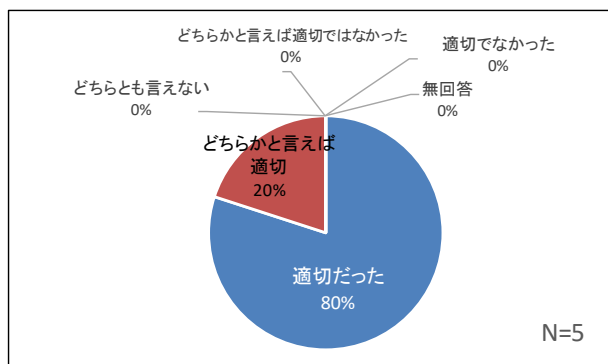
【受講前の課題は適切でしたか】

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



【担当講師のゼミ授業は適切でしたか】

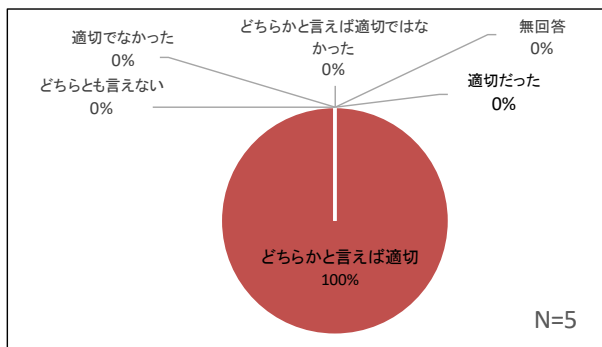
適切だった	4人
どちらかと言えば適切	1人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



- ・新自由主義の行きすぎを感じるこの頃、ケインズ的な政策に関心を持っていた。良いタイミングで、ケインズの考えについて学べた。経済を実務から考えることと同じくらい、学問としての経済学基礎を学ぶことも大切だと思う。

【事後レポートの課題は適切でしたか】

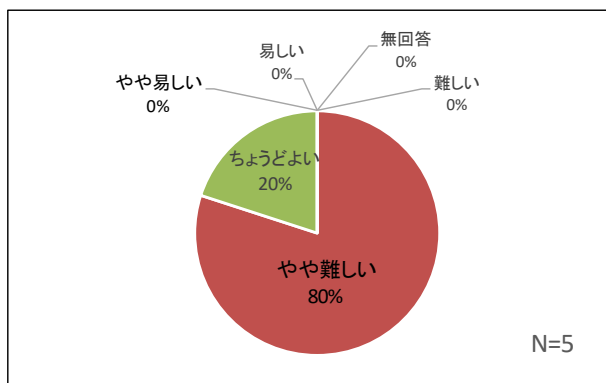
適切だった	0人
どちらかと言えば適切	5人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



・テーマから離れたことをつらつらと書いてしまって申し訳ない気がした。「投資」というものをもっと勉強しようと思う。

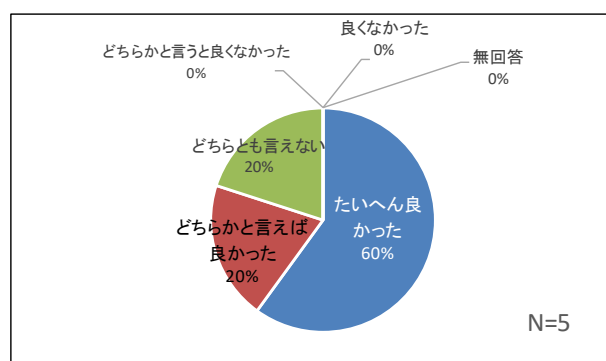
問5. 受講された市民ゼミナールの難易度についてお聞かせください。

難しい	0人
やや難しい	4人
ちょうどよい	1人
やや易しい	0人
易しい	0人
無回答	0人
合計	5人



問6. 受講を終えられて、市民ゼミナール全体の感想をお聞かせください。

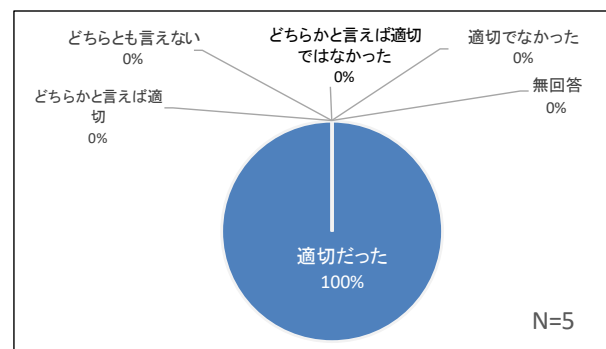
たいへん良かった	3人
どちらかと言えば良かった	1人
どちらとも言えない	1人
どちらかと言えば良くなかった	0人
良くなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



・基礎知識が不足していて「参加した」というより、「出席した」だけになってしまった。

問7. Cafe あすなろで開催しましたが、いかがでしたでしょうか。

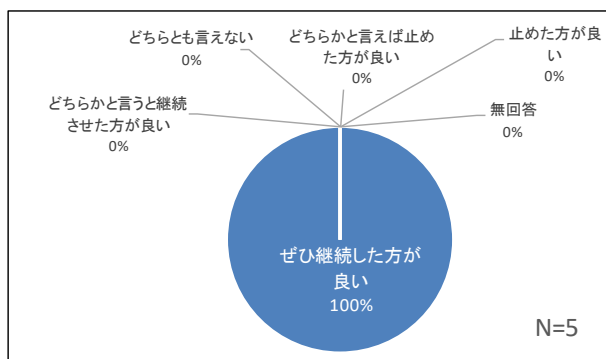
適切だった	5人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	5人



- ・些細なことで恐縮ですが、飲み物を配る際、ミルクと砂糖も配って頂くか、必要に応じて取れるようにして欲しいとあすなろのスタッフにお伝えいただければ有難いです。珈琲をお願いしたのですが、ミルクがなかったのであまり飲めなかったのが残念でした。

問8. この市民ゼミナールは今後も継続した方がよろしいでしょうか。

ぜひ継続したほうが良い	5人
どちらかと言うと継続させたほうが良い	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば止めた方が良い	0人
止めた方が良い	0人
無回答	0人
合計	5人



問9. 市民ゼミナールで取り上げると良いと考えられるテーマがありましたら、教えて下さい。

- ・テーマについては、様々な考え方があると思いますが、その1つで、大学は卒業していても、正直、その専攻した学問についてあまり勉強していない（そもそも大学で勉強していない）～私のようなひとが結構いると思います。年齢を重ねてきて、改めて勉強したいと思うケースがあると思いますので、大学で学んだはずの純粋な学問をあらためて取り上げてもらうのも良いと思います。（経済学部を出ていても、経済学について何も知らない・・・などの会話はよくあります）今更、聞けない、出身大学の専攻学問・・・で、ありますよね。
- ・1.リレー講義 前期後期の様なテーマ, 2.高崎市の古代から今日に至るまでの諸々
- ・格差問題。貧困の連鎖。ベーシックインカム。特に、格差はなぜ広がったのか、是正のための政策についてなど、学びたい。トマス・ピケティの説を中心に、格差の歴史について等。アベノミクスの功罪。アベノミクス下でトリクルダウンはあったのか知りたい。

問10. 高崎経済大学の市民向け事業全般について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

- ・本講座は市民が参加してこそ意義があると思います。もう少し参加人員が多くて宜しいのではないかと思います。幸い市長が教育関係の出身ですから充分ご理解して下さいと思います。過日あすなろで3回程講座がございました。例えばあすなろに於いて開催時に限り市役所の駐車場開放（無料）にするとか、経大生に限り時間制限して配慮する様な事は如何ですか。
- ・今回のゼミは大変、楽しかったです。まず、少人数であったこと、講師と親しく意見を交換できたこと等、知的な刺激を受けた。伊藤先生の説明も、ポイントを絞っていながら、深い問題を提示していた。課題テキスト指定があり、事後課題レポートもあるというのも、学んだことがより記憶に残り、実に良いと思う。私が今回受講費を払ってでも、参加を決めた理由もそこにある。
- ・あすなろというロケーションも、落ち着いていてよかったです。個人的には、飲み物だけでも良いかもしれません。ケーキが食べられない人もいるかもしれません。その分会費を少々安くするのも一案です。欧州ではカフェで政治談議や文化を論ずる伝統がありますね。そんなことを思い出しました。ぜひ、積極的に、時事問題や実務関係の問題について、市民講座を開いて欲しい（一般公開講座、今回のような少数ゼミなど、色々な形態で）。
- ・問い合わせに丁寧に対応して下さいました事務局の方々に感謝したいです。
- ・レポートに、丁寧な講師からのコメントが頂けたことに、感激しました。

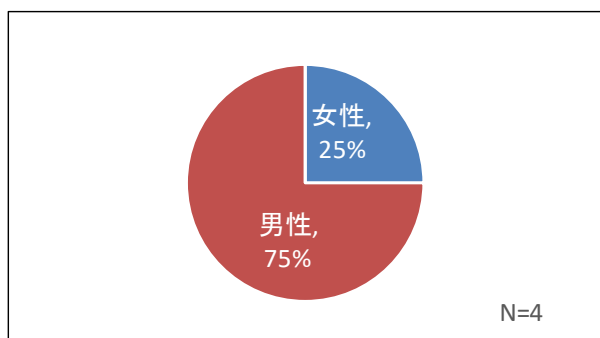
○12月18日のゼミ（講師：八木橋慶一所員）終了後、アンケートを実施。

[有効回答数：4人（回収率：100.00%）]

問1. ご自身についてお答えください。

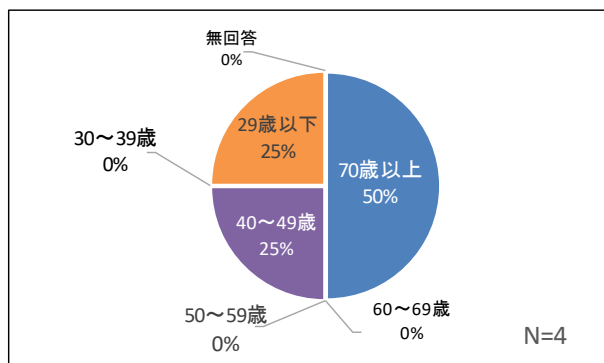
【性別】

女性	1人
男性	3人
合計	4人



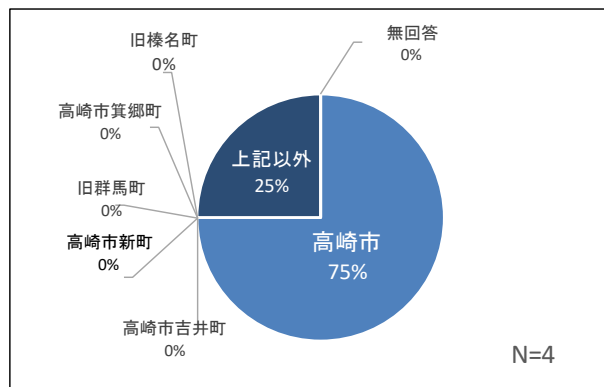
【年齢】

70歳以上	2人
60～69歳	0人
50～59歳	0人
40～49歳	1人
30～39歳	0人
29歳以下	1人
無回答	0人
合計	4人



【お住まい】

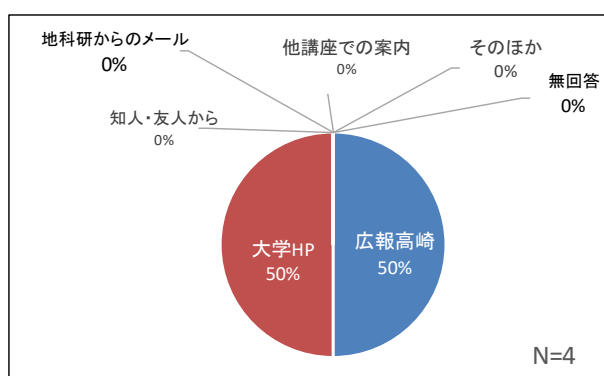
高崎市	3人
高崎市吉井町	0人
高崎市箕郷町	0人
高崎市新町	0人
旧群馬町	0人
高崎市箕郷町	0人
旧榛名町	0人
上記以外	1人
無回答	0人
合計	4人



※上記以外……栃木県足利市

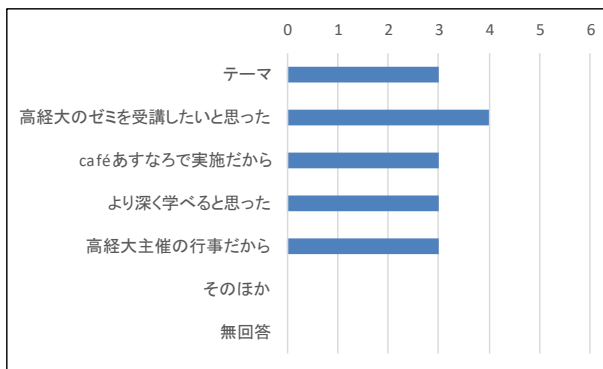
問2. 本企画をどこでお知りになりましたか

広報高崎	2人
大学のホームページ	2人
知人・友人から	0人
地域科学研究所からのメール	0人
他講座での案内	0人
そのほか	0人
無回答	0人
合計	4人



問 3. 受講された動機をお聞かせください。(複数回答可)

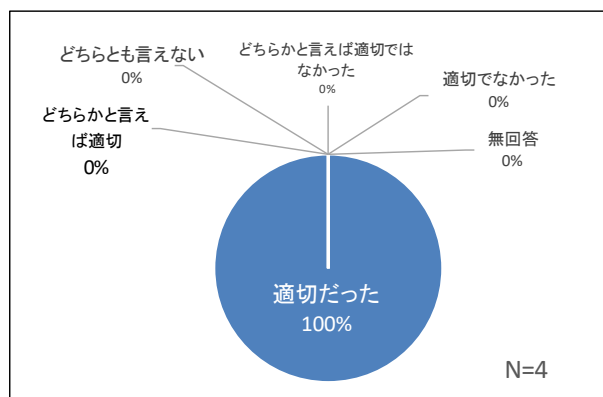
テーマに関心があった	3人
高崎経済大学のゼミを受講したい	4人
Cafe あすなろで実施するから	3人
事前課題や事後レポートでより深く学べるから	3人
高崎経済大学主催だから	3人
そのほか	0人
無回答	0人



問 4. 受講された感想をお聞かせください。

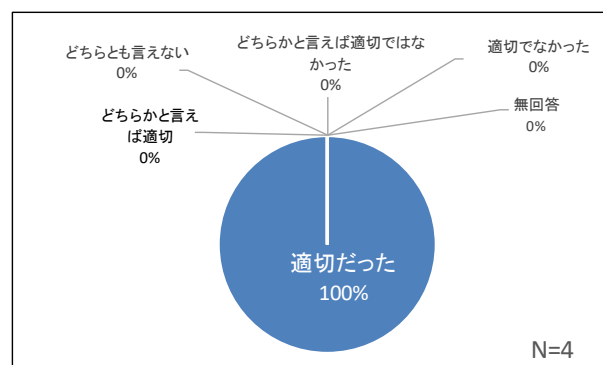
【テキストは適切でしたか】

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	4人



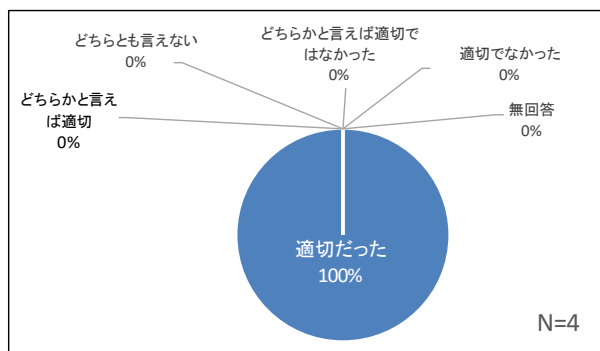
【受講前の課題は適切でしたか】

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	4人



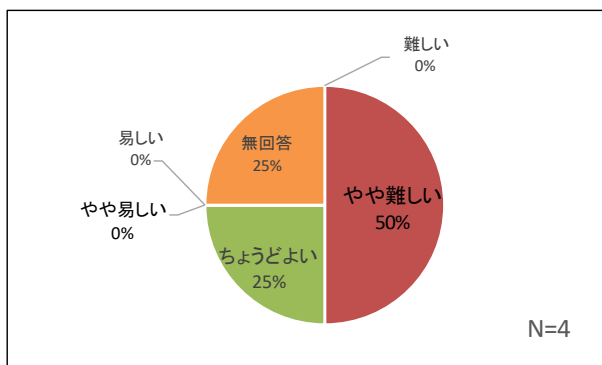
【担当講師のゼミ授業は適切でしたか】

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	4人



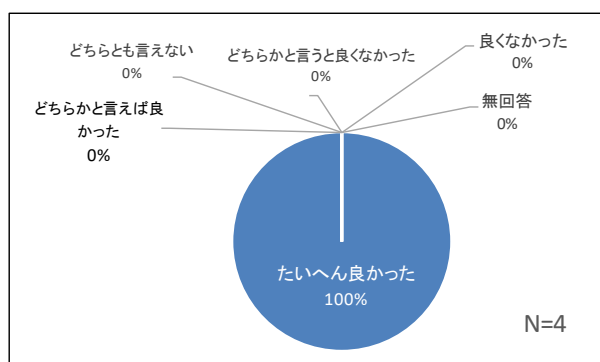
問5. 受講された市民ゼミナールの難易度についてお聞かせください。

難しい	0人
やや難しい	2人
ちょうどよい	1人
やや易しい	0人
易しい	0人
無回答	1人
合計	4人



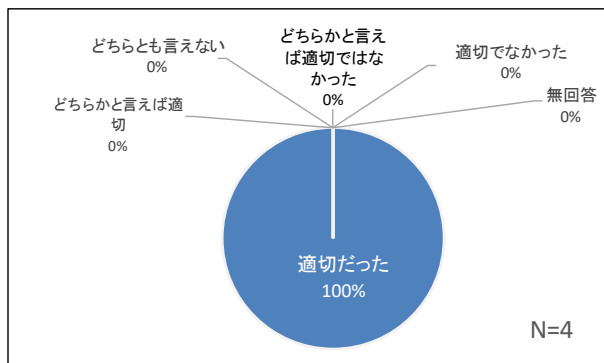
問6. 受講を終えられて、市民ゼミナール全体の感想をお聞かせください。

たいへん良かった	4人
どちらかと言えば良かった	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば良くなかった	0人
良くなかった	0人
無回答	0人
合計	4人



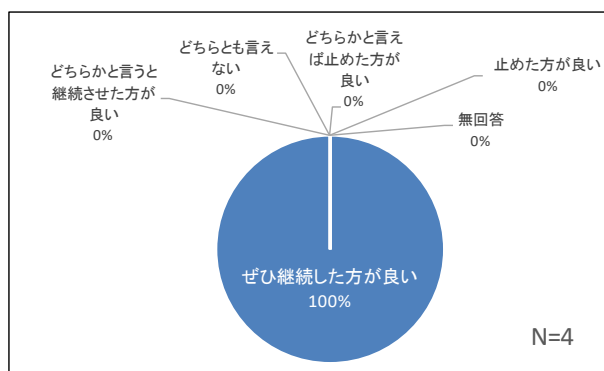
問 7. Cafe あすなろで開催しましたが、いかがでしたでしょうか。

適切だった	4人
どちらかと言えば適切	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば適切でない	0人
適切ではなかった	0人
無回答	0人
合計	4人



問 8. この市民ゼミナールは今後も継続した方がよろしいでしょうか。

ぜひ継続したほうが良い	4人
どちらかと言うと継続させたほうが良い	0人
どちらとも言えない	0人
どちらかと言えば止めた方が良い	0人
止めた方が良い	0人
無回答	0人
合計	4人



問 9. 市民ゼミナールで取り上げると良いと考えられるテーマがありましたら、教えて下さい。

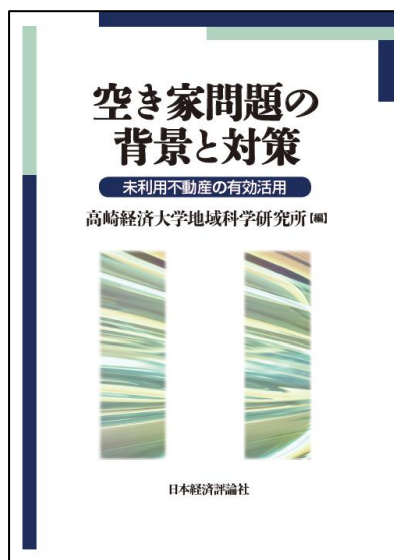
- ・様々な世代、人々とよりよい地域ぐらしをどうすれば良いのか考える。
- ・これからの高崎がどの様に進化しつつ変化して行くか。

問 10. 高崎経済大学の市民向け事業全般について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

- ・通信教育制度を設けたら如何ですか。市民の中には学びたくても各自各様に事情があり、本講座にも来られない方々がおられます。御本人にやる気があれば可能だと思います。しかし学校当局並びに職員の方々は大変だと思います。60周年の事業開設としては相応しいと思います。生意気な事を申し上げお許し下さい。受講の日数が加わる度に教授の良さが増しこのままではもったいない様な気が致します。

研究プロジェクト新刊案内

地域科学研究所としての最初の研究プロジェクトの研究成果『空き家問題の背景と対策 未利用不動産の有効活用』が日本経済評論社から刊行されました。



本書は、2016年度から2018年度までの3カ年を研究期間とした「空き家問題」をテーマとした研究プロジェクトの研究成果です。少子高齢化や地方の人口減少などに伴い空き家が年々増加しており、2013年の総務省の発表によれば、空き家は全国で820万戸、住戸の13.5%を占めています。高崎市建築住宅課の資料によると2013年現在、高崎市の住宅戸数約178,220戸の内、空き家は26,450戸、空き家率は14.8%となっており、全国平均を上回っています。2015年の「空家等対策の推進に関する特別措置法」の施行に対応して、高崎市では独自の空き家対策を展開してきました。高崎市の空き家は中心市街地、郊外住宅団地、過疎化の進んでいる農山村地域のそれぞれにおいて発生要因が異なっており、一律的には捉えられない側面がありますが、空き家放置に伴い発生する様々な問題を解決するために、管理するか、

解体するか、あるいは活用を図る必要が生じています。そこで、地域科学研究所では、空き家問題解決の指針やヒントとなるよう研究に取り組みました。

研究プロジェクトは、岩崎 忠所員(地域政策学部教授)の発案によって発足し、10名の研究者、実務家が法学、政治学、経済学、経営学、社会学、地理学、地域政策学から学際的に空き家問題にアプローチしました。研究プロジェクトのメンバーは、6名の本学教員と学外から4名の研究者、実務家に参加いただきました。先生方には、本務多忙にもかかわらず、資料収集、ヒアリングのために全国に出張していただき、2018年11月10日(土)には原稿執筆前の内容検討会が行われました。こうしてまとめられた本書は、空き家問題に苦悩している多くの自治体に、多くの示唆を与えるものと期待されます(2019年3月15日発行、定価3,500円+税)。

【目次】

- 序章 日本における空き家の概況と先行研究の動向<佐藤英人>
- 第1章 空家特別措置法施行前後の自治体対応と今後-空き家の「点」と「面」からの対策-<岩崎忠>
- 第2章 空家法の補完機能としての空き家条例の実態-多様性・実効性・公平性の観点から-<大澤昭彦>
- 第3章 空き家問題の一考察-政府・コミュニティの視点から-<佐藤公俊>
- 第4章 特定空家等に対する行政代執行と費用回収<鈿持麻衣>
- 第5章 空き家条例における緊急安全措置の法的考察<鈿持麻衣>
- 第6章 民法による空家問題解決の可能性-財

産管理人制度の活用を例にして－〈帖佐直美〉

第7章 都市のスポンジ化と空き家対策のあり方－高崎市空き家緊急総合対策の実績等を踏まえて－〈鈴木智〉

第8章 NPO と自治体の空き家対策事業－高崎市「地域サロン改修助成金」を例として－〈八木橋慶一〉

第9章 人が集まる場所としての空き家の利活用－担い手のモチベーションと地域間の人材をめぐる競争－〈若林隆久〉

第10章 人口置換が進む住宅地と空き家化の抑止－西部吉井ニュータウン南陽台を事例として－〈佐藤英人〉

第11章 長寿命化の視点からみた地方都市の空き家－前橋市の実態を踏まえた空き家政策の提言－〈堤洋樹〉

第12章 空き家対策と都市計画の連携－空家等対策計画の重点地区に着目して－〈大澤昭彦〉

地域科学研究所動静

- ・地域科学研究所特定研究員の本年度研究成果報告会を2月20日に開催しました。特定研究員は、本学の博士後期課程を修了・満期退学した者および本学の任期制助手のうち、本研究所で研究活動を行っている者です。
- ・地域科学研究所紀要「産業研究」第54巻第2号を発行しました。今号では、論文4本、研究ノート2編、書評2編を掲載しました。論文等は、近日中に本学ホームページ（リポジトリ）で公開します。

編集後記

今年度、主に地域科学研究所の事務運営を担当させていただきました。この1年間はあっという間で、慌ただしく過ぎてしまった気がします。

地域科学研究所の運営に携わる中で、「研究」と「地域貢献」の2つは密接に関わっていることを実感いたしました。大学の研究を地域のために生かし、また、地域から学んで研究に生かす。このことは車の両輪のようであると感じています。そして、高崎経済大学のこの大きな使命を担っている事業に貢献できることに感謝しています。

今年度で学んだこと、感じたことを来年度の事業に生かしていきたいと思います。さらなる地域の発展のために尽力して参ります。

これからも地域科学研究所の事業に積極的にご参加いただき、共に学んでいくことができれば幸いです。

2019年度も地域科学研究所をどうぞよろしくお願いいたします。（YA）

高崎経済大学地域科学研究所

ニュースレター No.11

発行 2019年3月29日

群馬県高崎市上並榎町 1300(〒370-0801)

TEL(027)344-6267 FAX(027)343-7103

E-mail : chiikikagaku@tcue.ac.jp

©TIRS